



MSD41-58005/6/7/8/11/12 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MSD41-58005-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	ヴェルファイア	-
MSD41-58005-C0	ブラック(202)		
MSD41-58005-C2	ニュートラルブラック(229)		
MSD41-58006-NP	未塗装品		
MSD41-58007-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)		Zプレミアム用
MSD41-58007-C0	ブラック(202)		
MSD41-58008-NP	未塗装品		
MSD41-58011-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)		
MSD41-58011-C2	ニュートラルブラック(229)		
MSD41-58012-NP	未塗装品		

- ・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>
- ・本商品とフロントグリルキット、シグネチャーイルミブレードを同時装着する場合は、フロントグリルキット、シグネチャーイルミブレード、本商品の順で取付けてください。

⚠ **注意**： エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

■ 構成部品

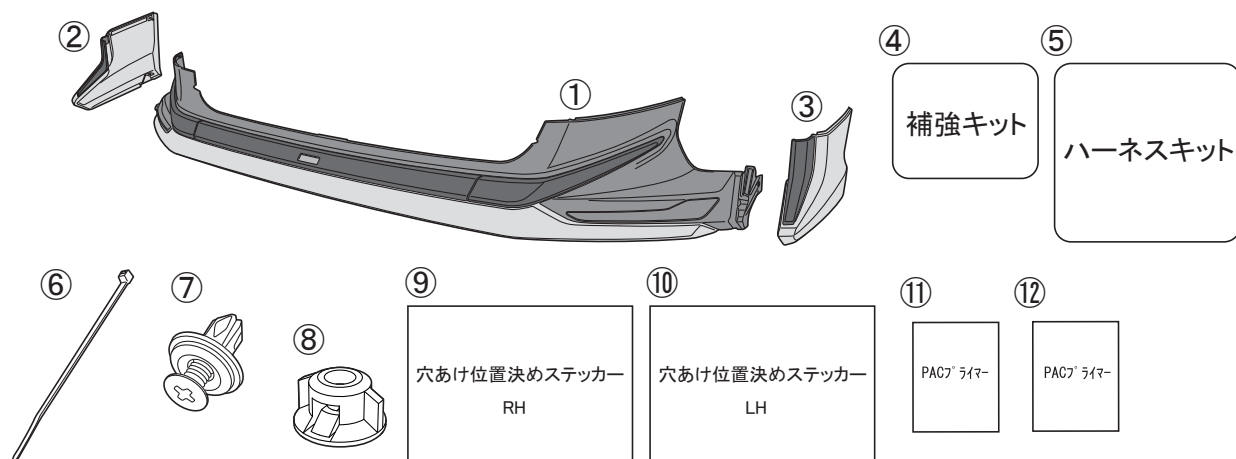
No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
①	フロントスポイラー CTR		1	
②	フロントスポイラー SIDE-RH		1	
③	フロントスポイラー SIDE-LH		1	
④	補強キット		1	小袋
⑤	ハーネスキット		1	小袋
⑥	結束バンド		27	L=150
⑦	スクリベット		6	
⑧	クリップナット		2	
⑨	穴あけ位置決めステッカー-RH		1	
⑩	穴あけ位置決めステッカー-LH		1	
⑪	PACプライマー	08867-00250	1	N210NT
⑫	PACプライマー	08867-00230	1	K-500

以下、MSD41-58006/8/12-NP(未塗装品セット)のみに同梱

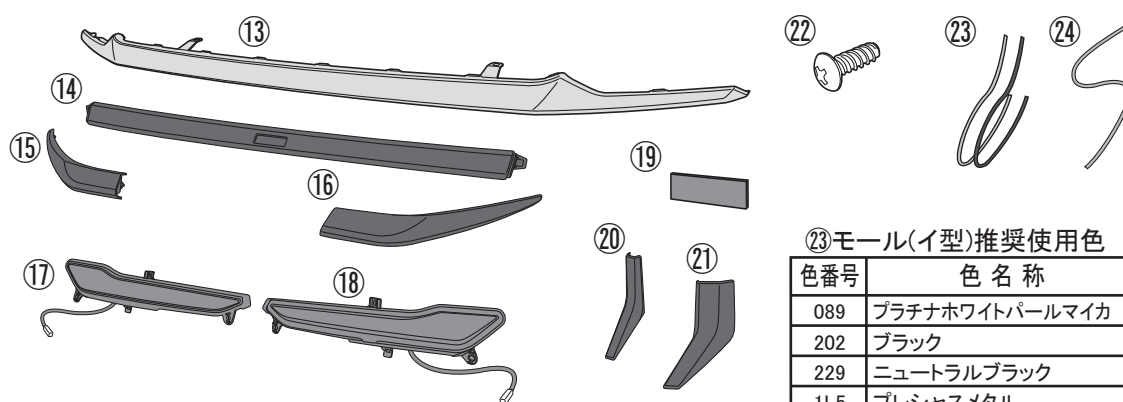
No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
⑬	フロントスポイラー CTR-LOW		1	
⑭	メッキパーツ CTR-CTR		1	
⑮	メッキパーツ CTR-RH		1	
⑯	メッキパーツ CTR-LH		1	
⑰	LEDユニット RH		1	
⑱	LEDユニット LH		1	
⑲	遮光シート		2	20×60
⑳	メッキパーツ SIDE-RH		1	
㉑	メッキパーツ SIDE-LH		1	
㉒	トラスタッピング		17	M4×10
㉓	エンドモール(イ型)		1	ライトグレー:L=1000 黒:L=1000
㉔	モール(L型)		1	黒:L=500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

□ 構成部品図



以下、MSD41-58006/8/12-NP(未塗装品セット)のみに同梱



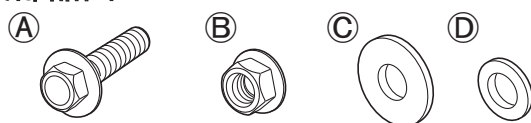
②③モールド(イ型)推奨使用色

色番号	色名称	モールド色
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
202	ブラック	黒
229	ニュートラルブラック	黒
1L5	プレシヤスメタル	黒

■ ④補強キット 構成部品

No.	部品名	品番	個数	備考
①	フランジボルト		2	M8×23
②	フランジナット		2	M8
③	ワッシャーA		2	t=1.6 内径φ8.5 外径φ28
④	ワッシャーB		4	t=1.6 内径φ8.5 外径φ18

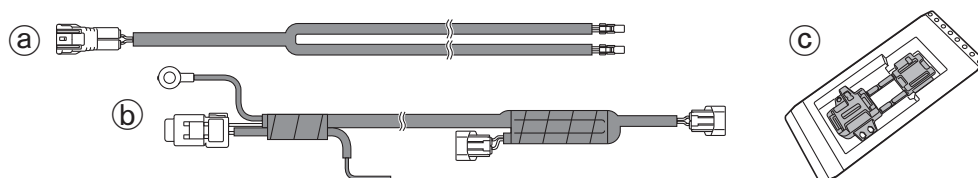
□ 構成部品図



■ ⑤ハーネスキット 構成部品

No.	部品名	品番	個数	備考
①	バンパーハーネス		1	バンパー裏側用
②	電源ハーネス		1	エンジンルーム用
③	分岐コネクタ		1	京セラ 9715

□ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより、重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

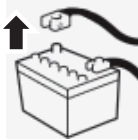
- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が15℃未満の低温時には接着力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化は、GTS等のツールが必要な場合があります。
- ❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

LEDランプ配線取付け上のご注意

- ❶ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❷ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



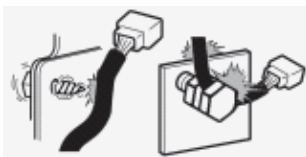
取付ける前に

- ・作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す。

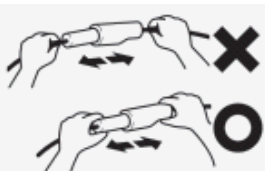


部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。



- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

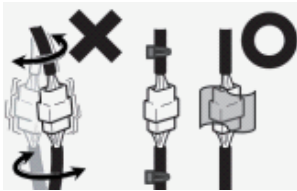
- ・コネクタは必ず本体持って外し、配線は引っ張らない。



- ・バリやエッジ部はガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端がほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように確実に固定する。

⚠ **注意：** エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ **注意：** バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように、十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種	1
2. 構成部品、構成部品図	2～3
3. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)	4
4. LEDデイトタイムランプ配線取付け上のご注意	5
5. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付け構成図	6
6. 取付け準備・取付け要領	7～19
7. 取付け完了後の点検・注意事項	19
8. 未塗装品の取扱いについて	20～24
9. 補修キットの両面テープ貼付け・配線図	25

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー・プライヤー
- ・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ・エアソー
- ・電動ドリル(刃:3.0mm/6.0mm/10.0mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ・ビニールテープ(耐熱)
- ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

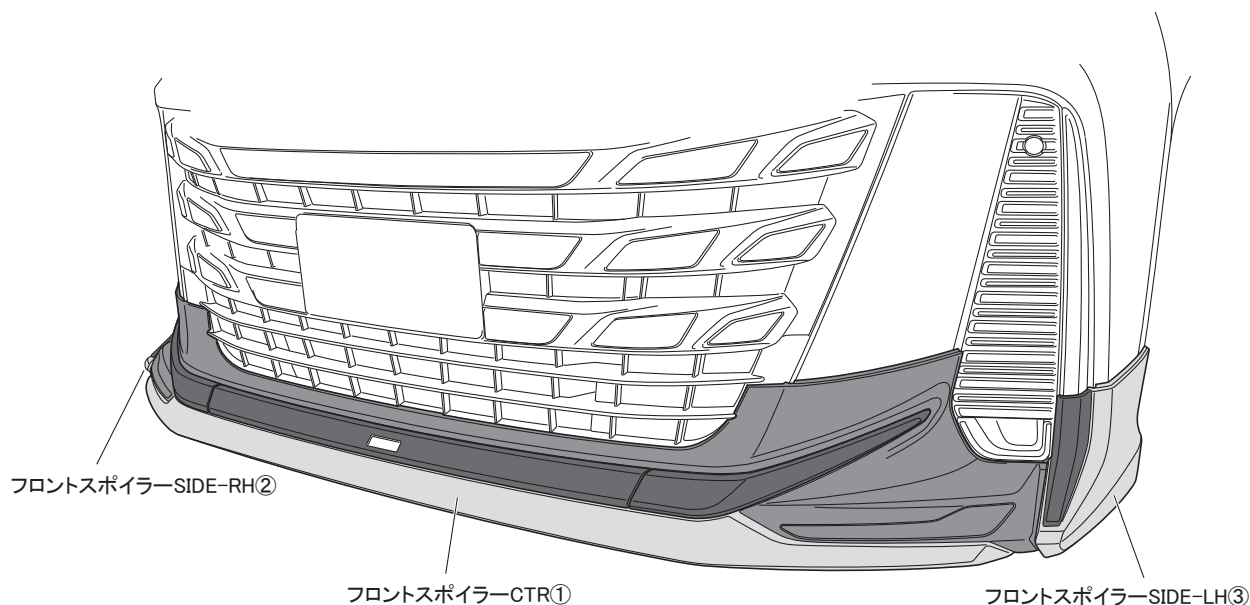
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTAカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図



【重要】

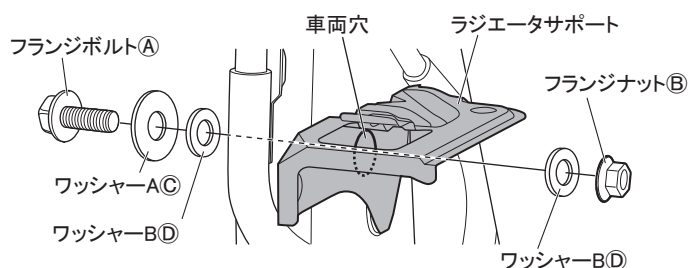
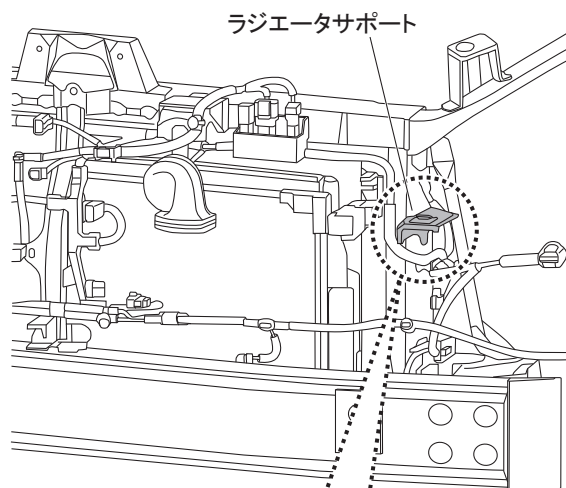
❗ ラジエータキャップの緩みに注意してください。

■ 取付け準備・取付け要領

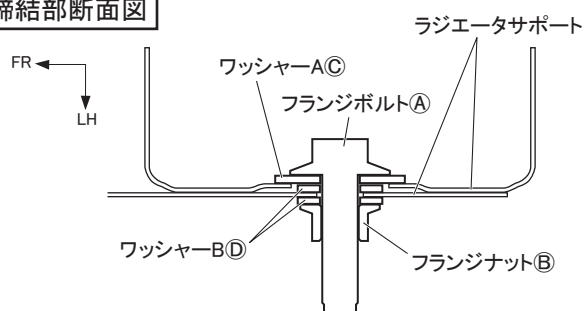
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ 補強部品取付要領

図1 ※LH図示 左右共通作業



締結部断面図



[ボルト/ナット 締付けトルク : 20N・m]

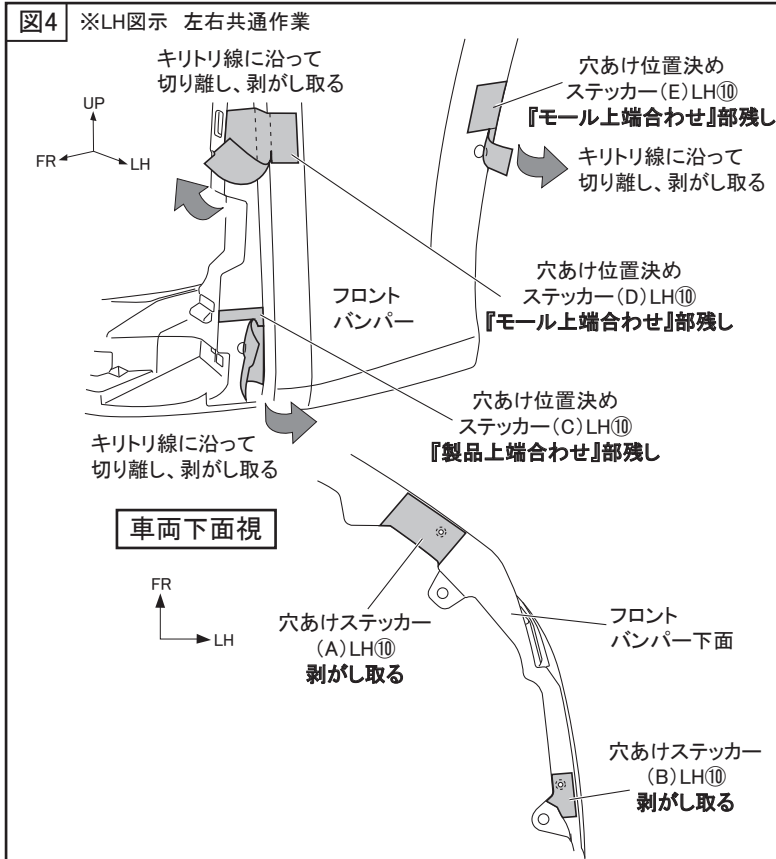
1. 車両フロントバンパー及び左右のヘッドライトを取外す。

👉 **アドバイス** : 車両フロントバンパー、ヘッドライトの取外しの詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)をご参照ください。

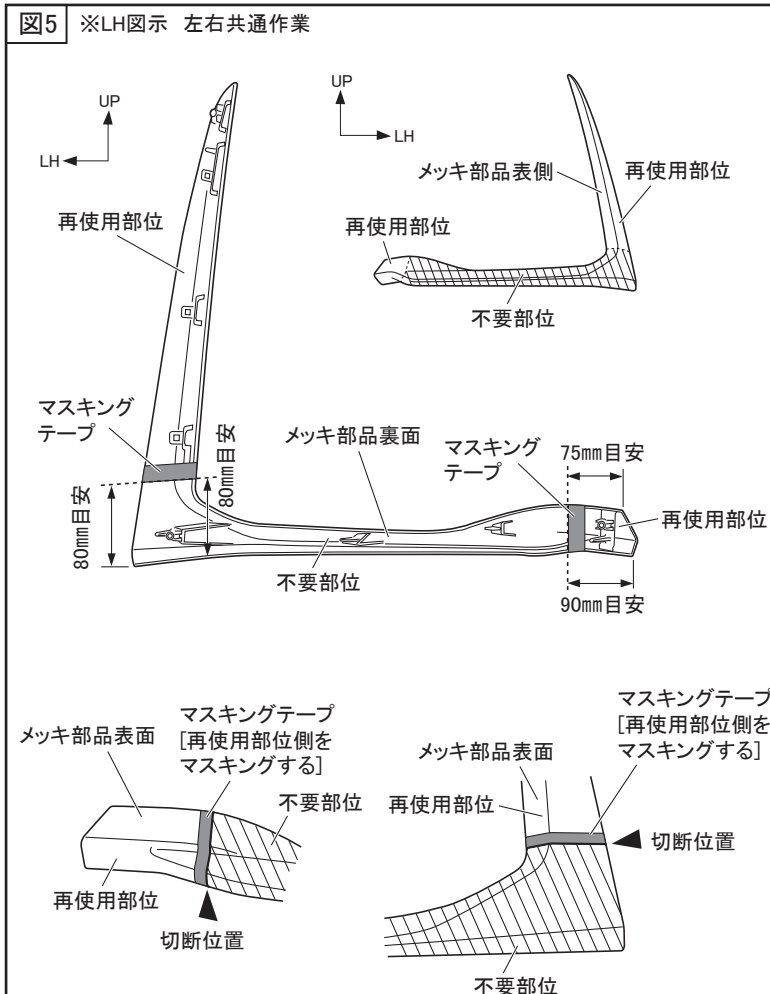
取外した車両ビス類は再使用します。

2. 図1のようにラジエータサポートの車両穴に、フランジボルト①、ワッシャーA③、ワッシャーB④、フランジナット②を仮締めし、ガタつき等がない事を確認して指定トルクで本締めする。(1箇所)
3. 左右のヘッドライトを復元する。

👉 **アドバイス** : ヘッドライトの復元の詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)をご参照ください。



5. 図4のように穴あけ位置決めステッカー(A)(B)、(C)、(E)LH⑩を剥がし、穴周囲のバリを除去する。
 ※穴あけ位置決めステッカー(C)、(D)、(E)LH⑩はキリトリ線に沿って切り離し、『製品上端合わせ・モール上端合わせ』部を残して剥がす。

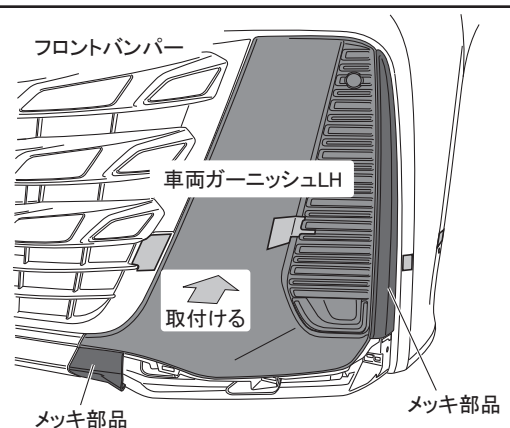


6. 図5のように車両ガーニッシュからメッキ部品を取外し、図示の位置へマスキングテープでマークする。
 ※再使用部位側へマスキングテープを巻く。
 7. 図5のようにメッキ部品を図示の位置で切断し、バリを除去する。

⚠ **注意：**作業時は保護メガネを着用してください。

8. 切断したメッキ部品(2ピース)を車両ガーニッシュに取付ける。
 9. 車両ガーニッシュをフロントバンパーへ復元する。

📖 **アドバイス：**車両ガーニッシュの復元の詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)をご参照ください。



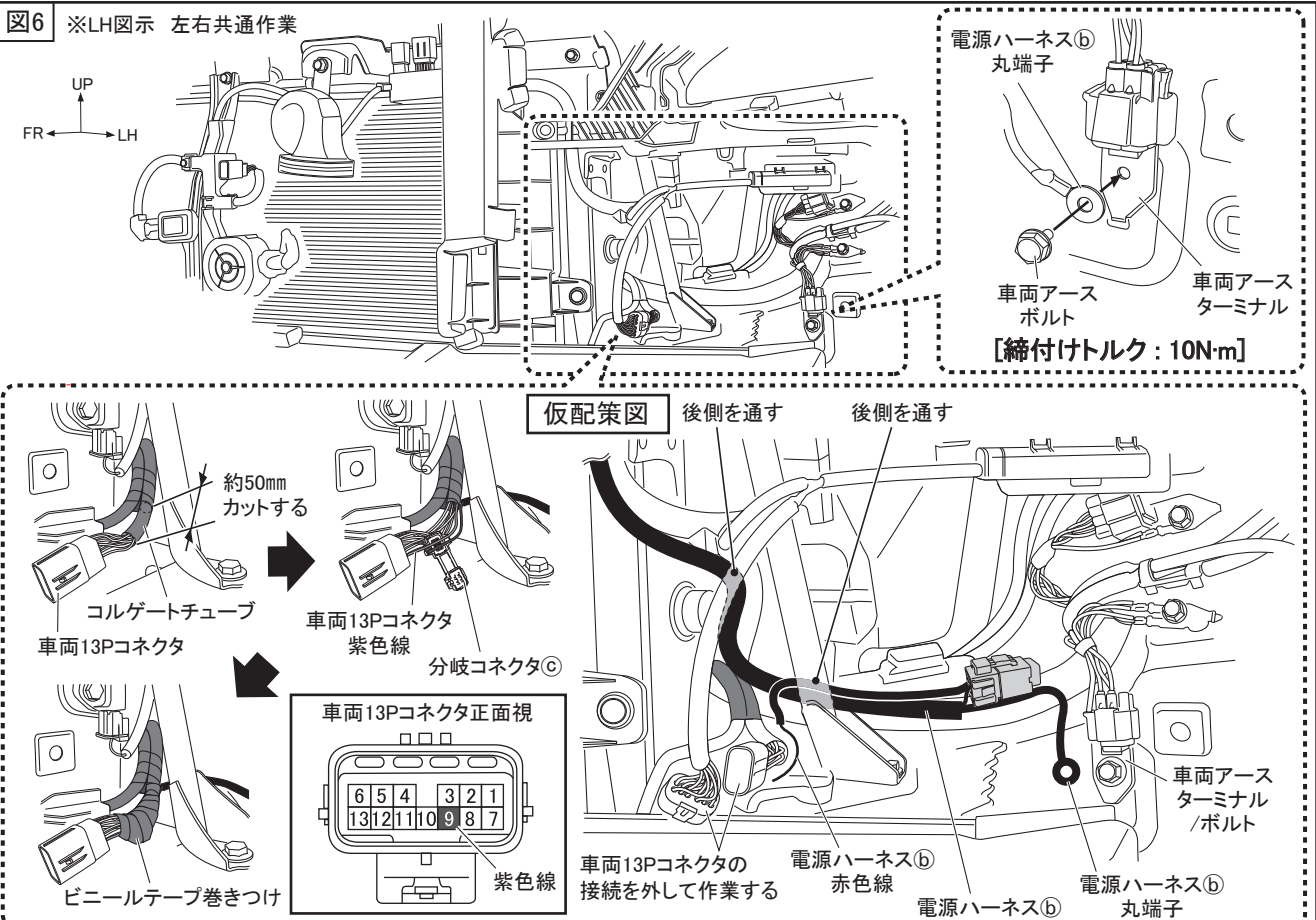
□ LED デイタイムランプ配線作業

※シグネチャーイルミブレード装着車は、12ページ【配線作業-3】に進んでください。

【配線作業 -1】

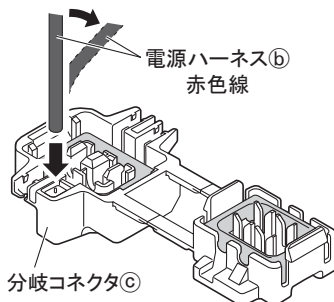
1. バッテリーのマイナス端子を取外す。
2. 図6のように図示位置の車両13Pコネクタの接続を外す。
3. エンジンルーム前側に電源ハーネス⑥を仮配策し、図示位置のコルゲートチューブを50mm程度カットする。
4. 車両ハーネス紫色線に電源ハーネス⑥の赤色線を分岐コネクタ⑤で接続する。(1箇所)
※分岐コネクタ⑤は車両13Pコネクタ端から約20mmあけて取付けてください。
5. 分岐コネクタ⑤単体にビニールテープを巻いた後、カットしたコルゲートチューブまでビニールテープを巻きつける。
6. 図示位置のアースターミナルに車両アースボルトで電源ハーネス⑥の丸端子を取付ける。(1箇所)
※アースボルトは指定トルクで本締めしてください。[車両アースボルト締付けトルク：10N・m]
7. 車両13Pコネクタを接続する。

図6 ※LH図示 左右共通作業

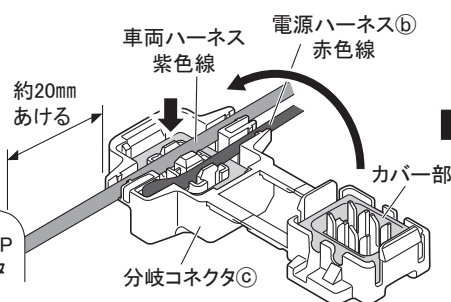


分岐コネクタ⑤ 接続詳細図

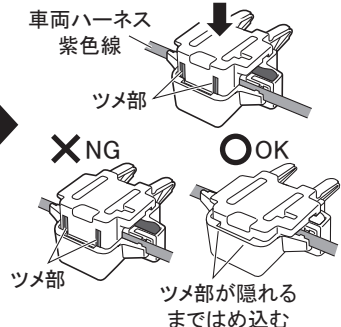
電源ハーネス⑥赤色線を奥まで差し込み込み折り曲げる



車両ハーネス紫色線を差し込みカバー部を折りたたむ



折りたたんだカバー部をロックのツメが隠れるまではめ込む



※電源ハーネス⑥の赤色線と車両ハーネス紫色線は奥まで差し込んだら、電線を前後左右に動かさないでください。
また、挿入した電線は抜かないでください。

【点灯確認】

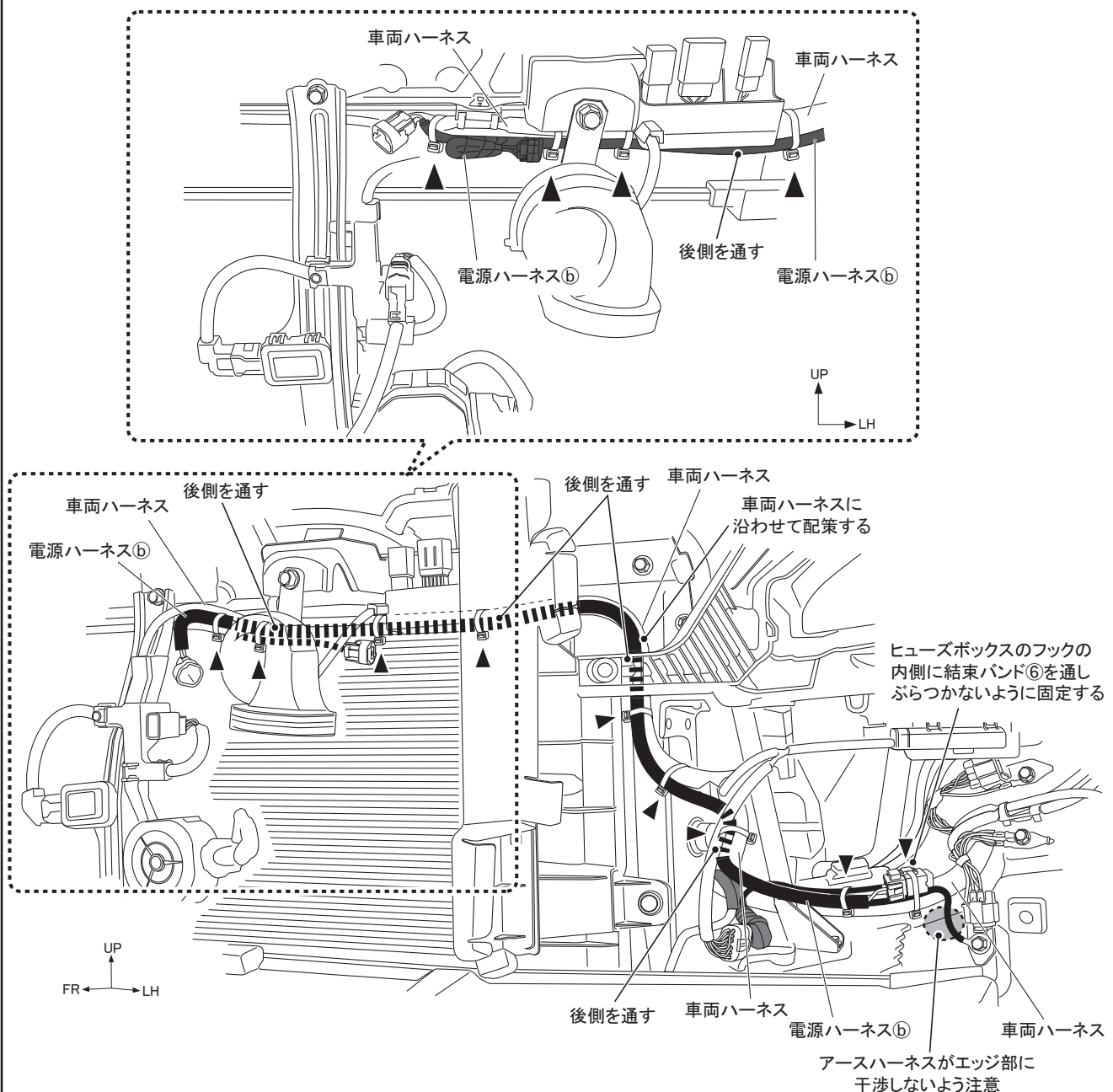
1. エンジンルーム側の電源ハーネス⑥のコネクタ(2P.黒)とバンパーハーネス③のコネクタ(2P.黒)を接続する。(1箇所)
2. フロントスポイラーCTR①のLEDランプハーネスのコネクタとバンパーハーネス③のコネクタを接続する。(左右各1箇所)
3. バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションONの状態にしてLEDデイトタイムランプの点灯確認を行う。点灯確認後、イグニッションをOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外す。
4. フロントスポイラーCTR①のLEDランプハーネスのコネクタとバンパーハーネス③のコネクタを取外し、バンパーハーネス③のコネクタ(2P.黒)と電源ハーネス⑥のコネクタ(2P.黒)を取外す。

⚠ 注意：点灯確認の際、フロントスポイラーCTR①及び車体に傷をつけないようにしてください。

【配線作業 -2】

1. 図7のようにエンジンルーム前側に電源ハーネス⑥を下図の要領で配策し、余長を調整して結束バンド⑥で固定する。(9箇所)

図7 ※結束バンド⑥固定位置を(▲)印で表しています。(9箇所)

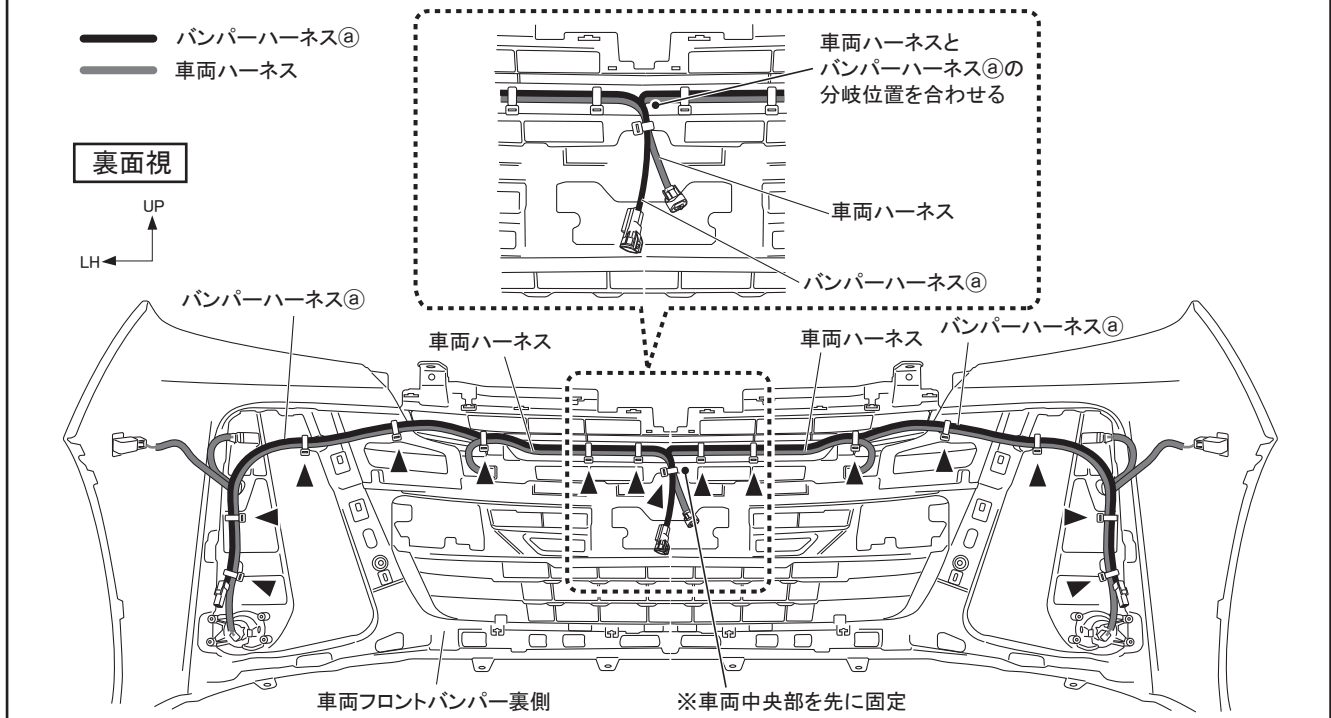


【配線作業 -3】

1. 図8のようにフロントバンパー裏側にバンパーハーネス④を下図の要領で配策し、余長を調整して結束バンド⑥で固定する。(15箇所)

図8 ※結束バンド⑥固定位置を(▲)印で表しています。(15箇所)

⚠ 注意: バンパーハーネス④固定の際、車両ハーネスの上部に沿わせてください。

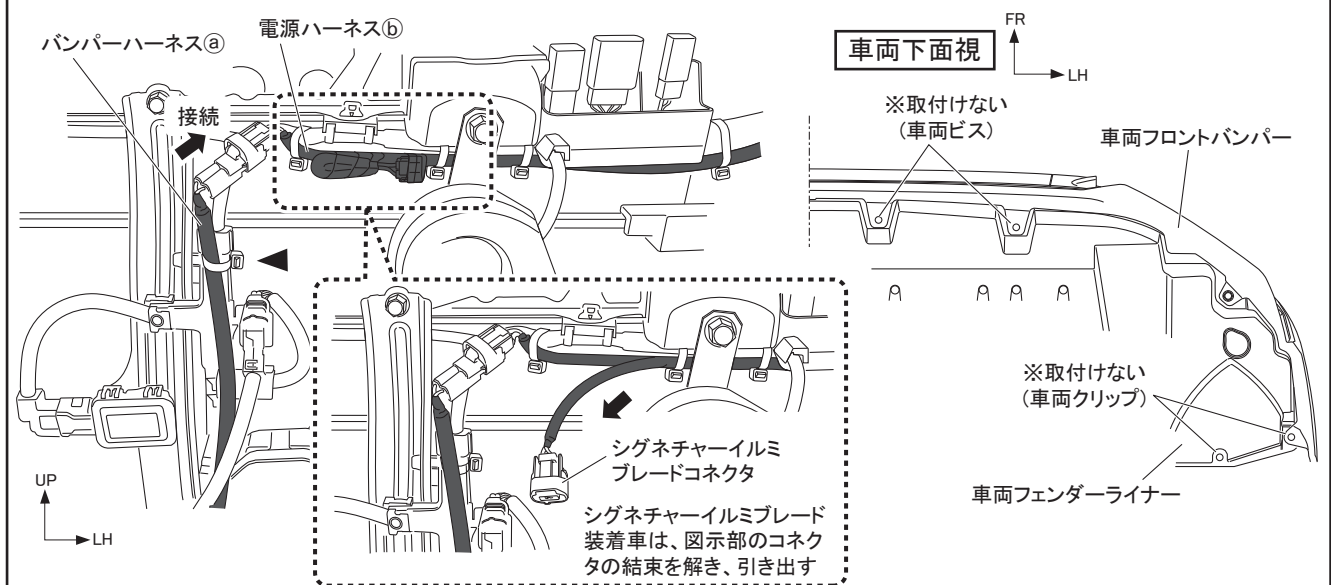


2. 車両前方にフロントバンパーを置き、図9のように電源ハーネス⑥とバンパーハーネス④のコネクタを接続して結束バンド⑥で固定する。(1箇所)
3. 車両フロントバンパーを復元する。

👉 アドバイス: 車両フロントバンパーの復元の詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)をご参照ください。

※後の作業で下面からフロントバンパー裏側にアクセスするため、車両フロントバンパー下面図示位置の車両ビス(2箇所)、車両クリップ(2箇所)、及び車両フェンダーライナーは復元しないでください。

図9 ※結束バンド⑥固定位置を(▲)印で表しています。(1箇所)



□ フロントスポイラーの取付け準備 -2

1. 図10のように車両ロアグリル中央部の縦横に傷つき防止のため、マスキングテープで養生する。

図10 ※LH図示 左右共通作業

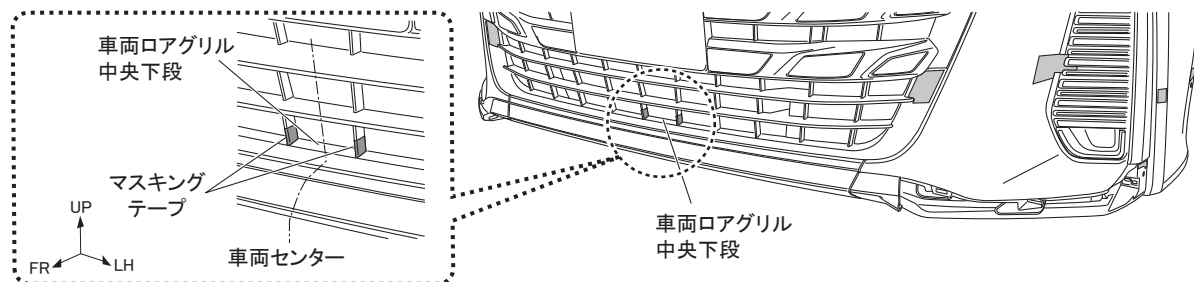
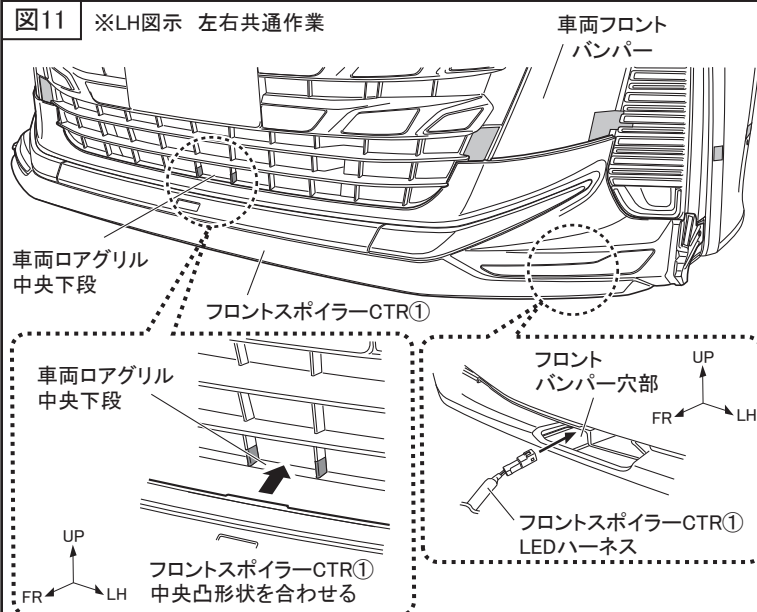


図11 ※LH図示 左右共通作業



2. 図11のように車両ロアグリル中央下段にフロントスポイラーCTR①の中央凸形状を合わせて、先に側面をスクリベット⑦で固定し、下面を車両ビス、スクリベット⑦で仮固定する。(3箇所)

※フロントスポイラーCTR①のLEDハーネスを車両フロントバンパー図示穴を通してバンパー裏側に送り込んでください。

アドバイス: スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

3. 図11のようにフロントスポイラーCTR①のエンドモール上端と位置決めステッカー(C)、(F) (G)LH⑩と位置を合わせて養生テープで仮固定する。

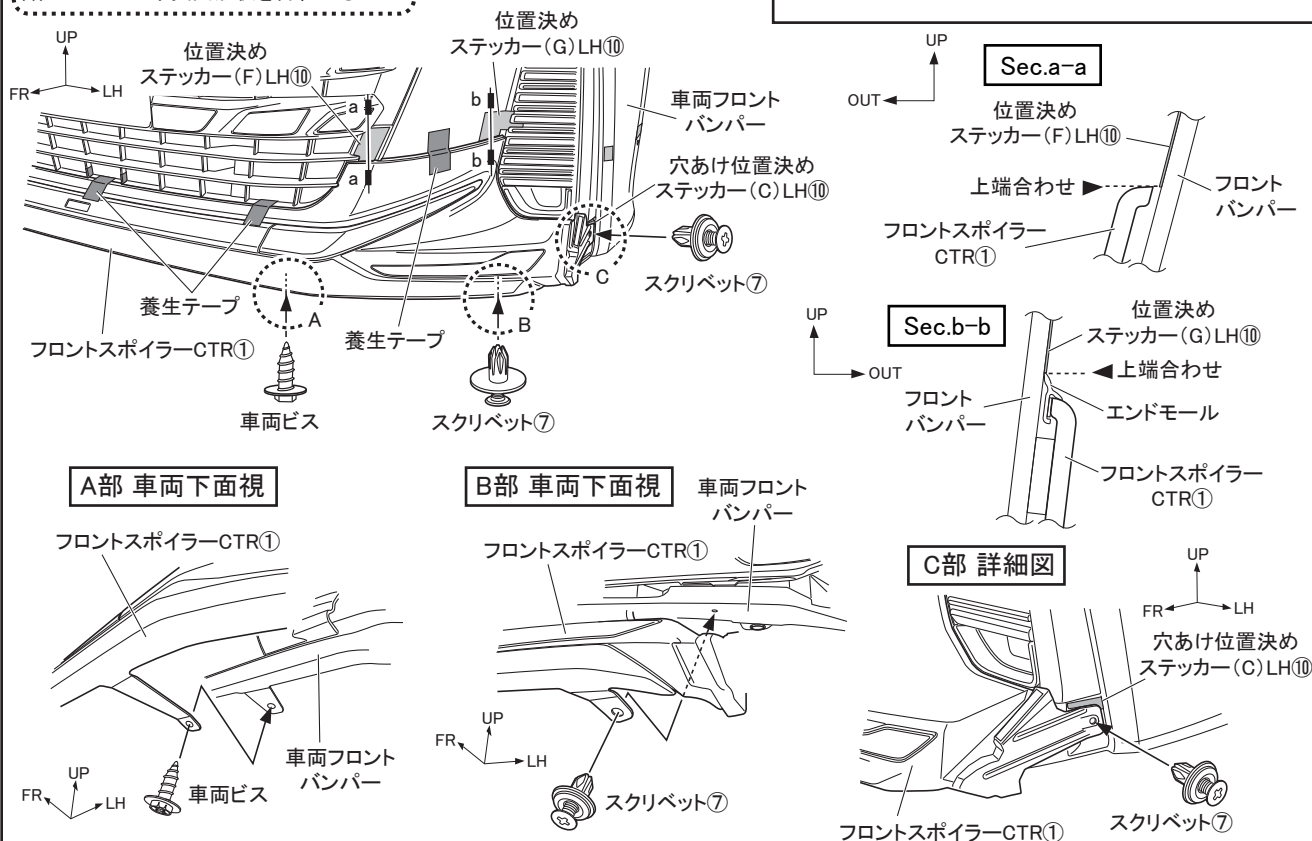
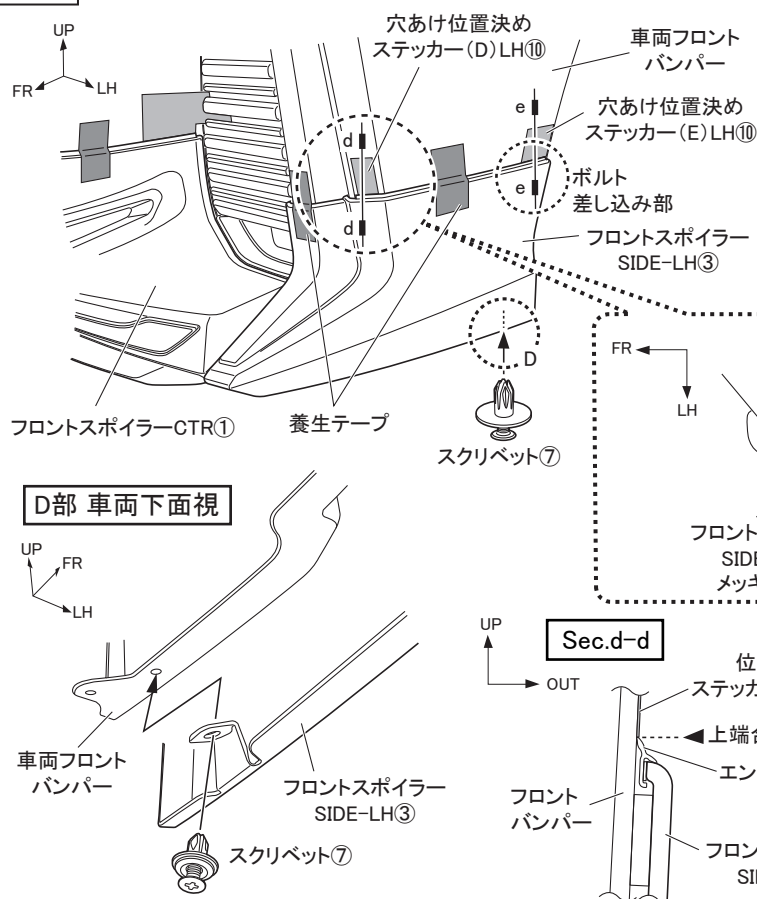


図12 ※LH図示 左右共通作業



4. 図12のようにフロントスポイラーSIDE-LH③のボルト部をフロントバンパー側面の穴へ差し込み、下面をスクリベット⑦で仮固定する。(1箇所)

5. 図12のようにフロントスポイラーSIDE-LH③のエンドモール上端と位置決めステッカー(D)、(E)LH⑩と位置を合わせて養生テープで仮固定する。

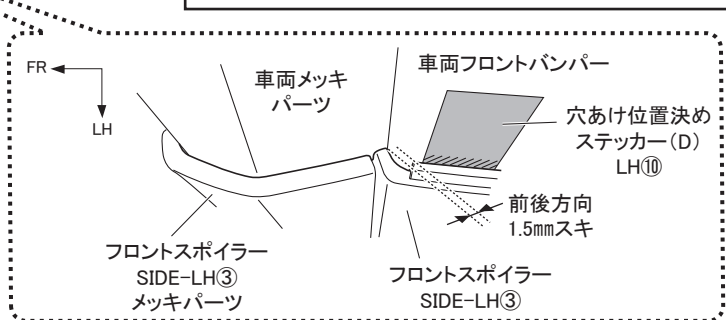
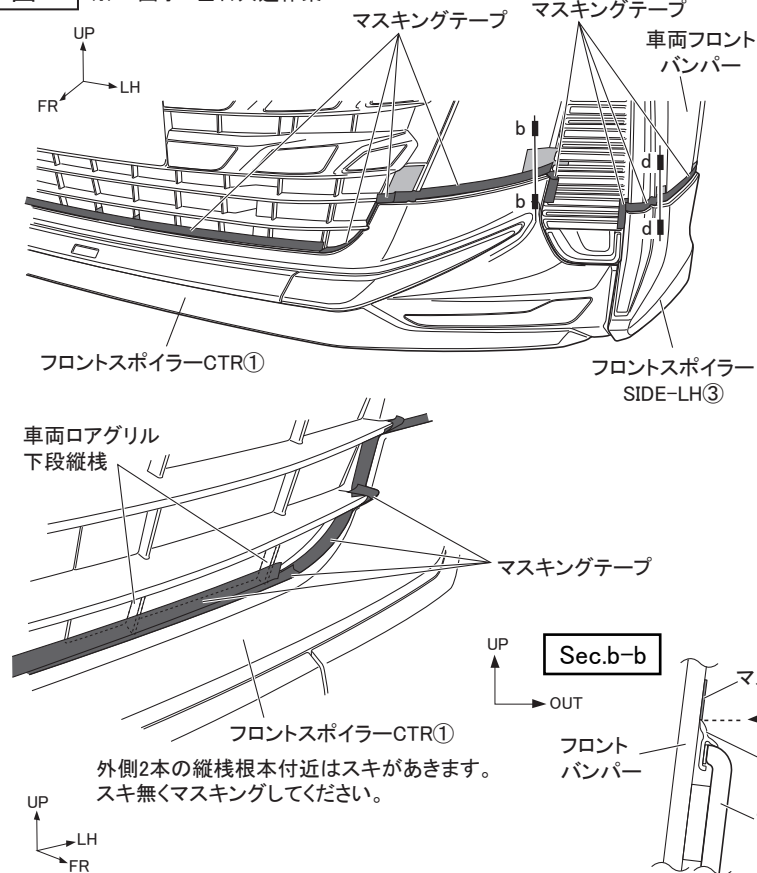


図13 ※LH図示 左右共通作業

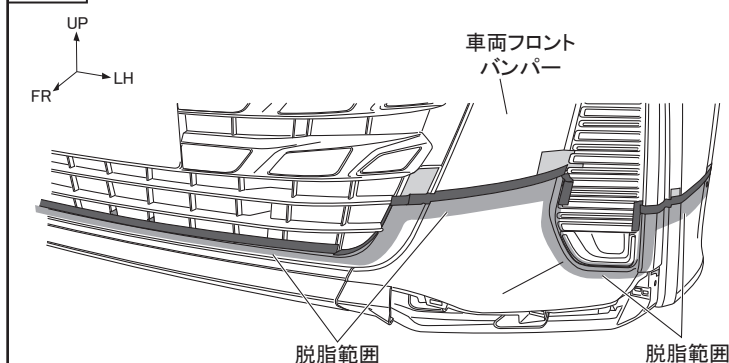


6. 図13のようにフロントスポイラーCTR①、フロントスポイラーSIDE-LH③のエンドモール上端及び図示端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。

⚠ 注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置を出し、マスキングを行ってください。

7. フロントスポイラーCTR①、フロントスポイラーSIDE-LH③を一旦取外す。

図14 ※LH図示 左右共通作業



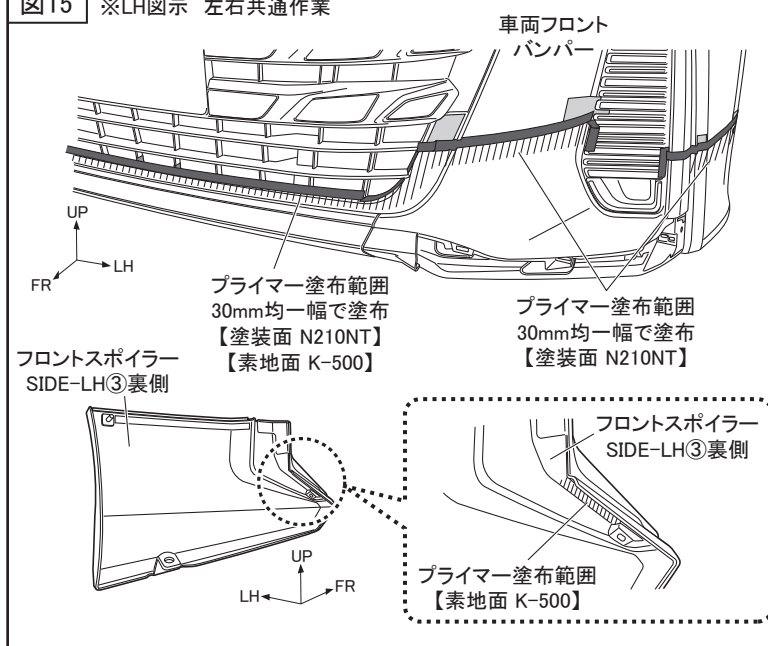
8. 図14 ■部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意**：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

👉 **アドバイス**：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

図15 ※LH図示 左右共通作業



9. 図15 ▨部(両面テープ貼付け部)にPACプライマーN210NT⑪及びPACプライマーK-500⑫を塗布する。

⚠ **注意**：PACプライマーは必ず塗布部位により使い分けてください。

塗装面：N210NT 素地面：K-500

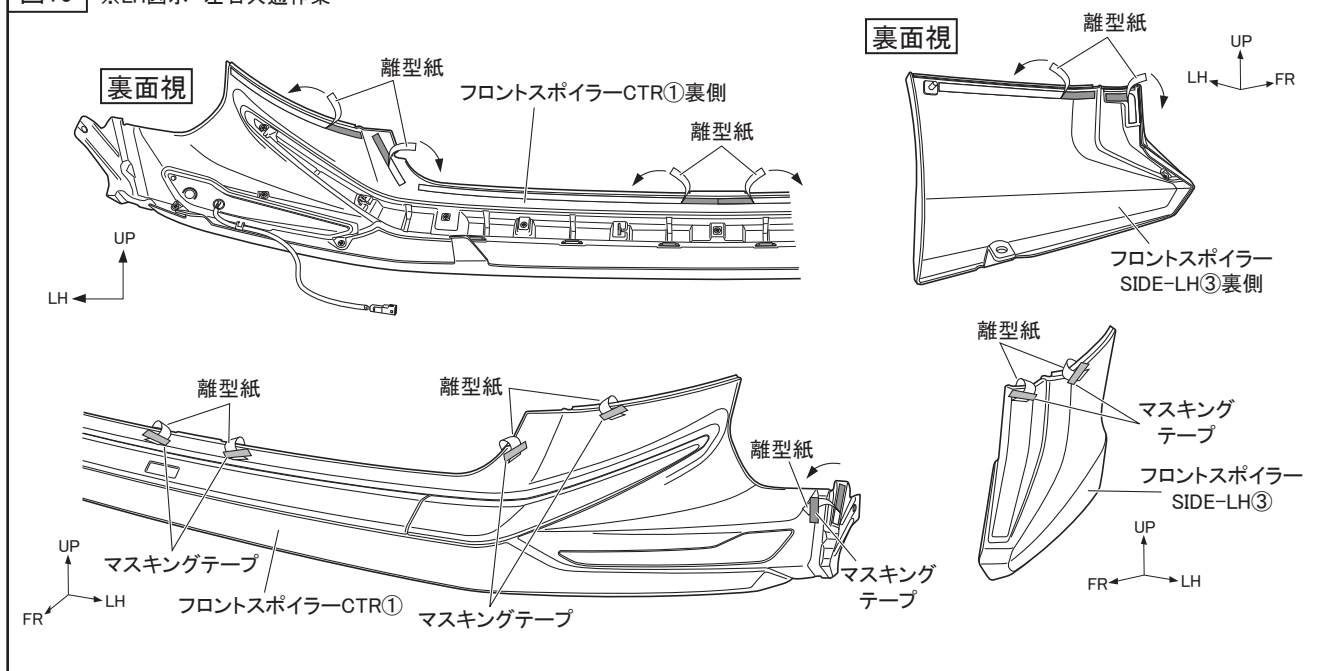
👉 **アドバイス**：PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させてください。PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

10. 塗布後マスキングテープを剥がしてください。

👉 **アドバイス**：マスキングテープを剥がす際、位置決めステッカー⑩を剥がさないように注意してください。

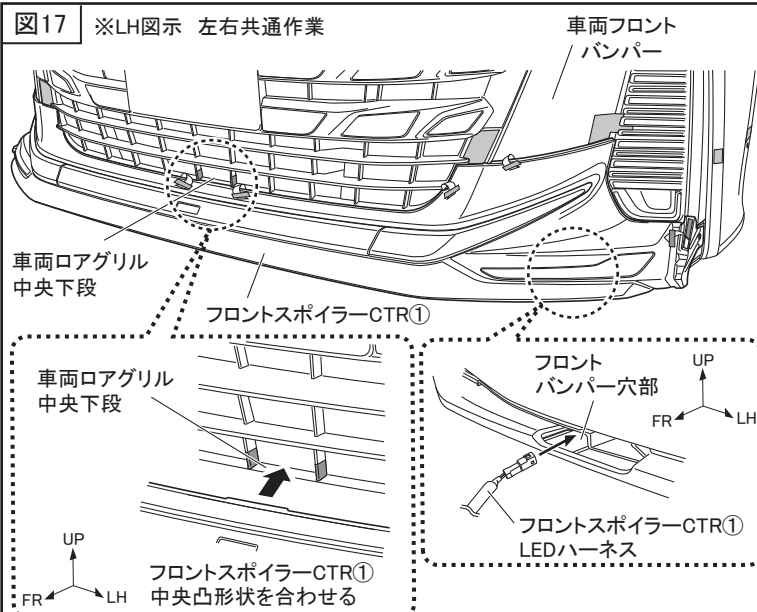
11. 図16のようにフロントスポイラーCTR①、フロントスポイラーSIDE-LH③裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、表面に折返してマスキングテープで貼付ける。(全6箇所)

図16 ※LH図示 左右共通作業



□ フロントスポイラーの取付け

図17 ※LH図示 左右共通作業

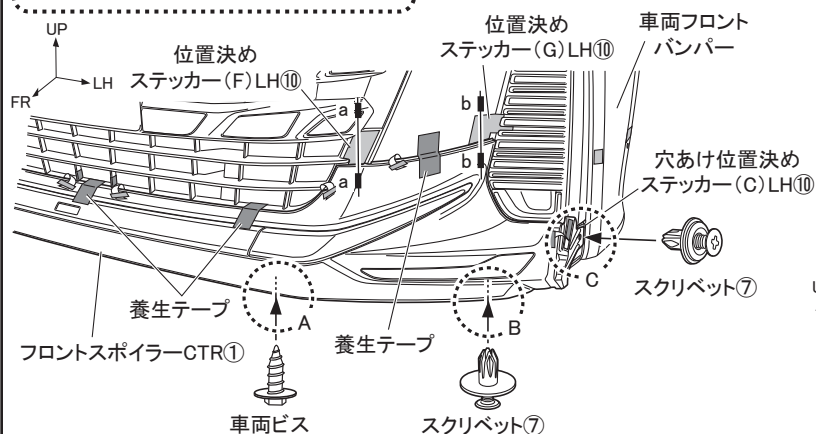


1. 図17のように車両ロアグリル中央下段にフロントスポイラーCTR①の中央凸形状を合わせてをあて、先に側面をスクリベット⑦で固定し下面を車両ビスで仮固定、次にスクリベット⑦で固定する。(3箇所)

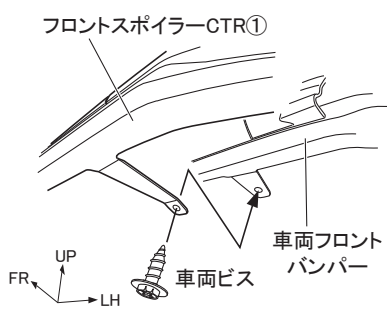
※フロントスポイラーCTR①のLEDハーネスを車両フロントバンパー図示穴を通してバンパー裏側に送り込んでください。

アドバイス：スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

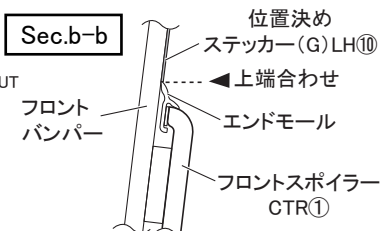
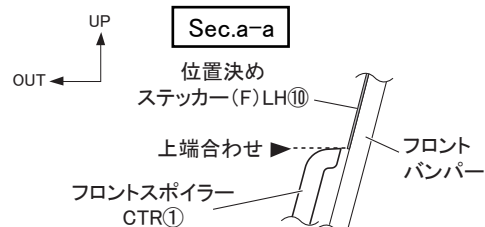
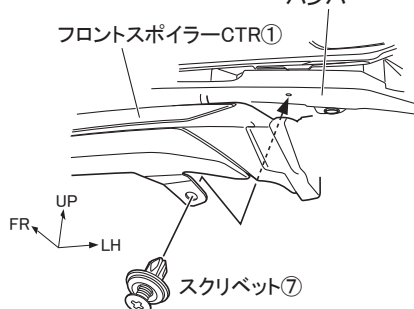
2. 図17のようにフロントスポイラーCTR①のエンドモール上端と位置決めステッカー(C)、(F)(G)LH⑩と位置を合わせて養生テープで仮固定する。



A部 車両下面視



B部 車両下面視



C部 詳細図

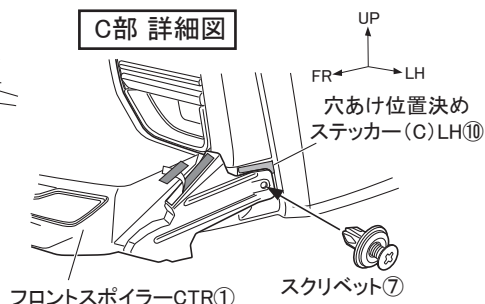
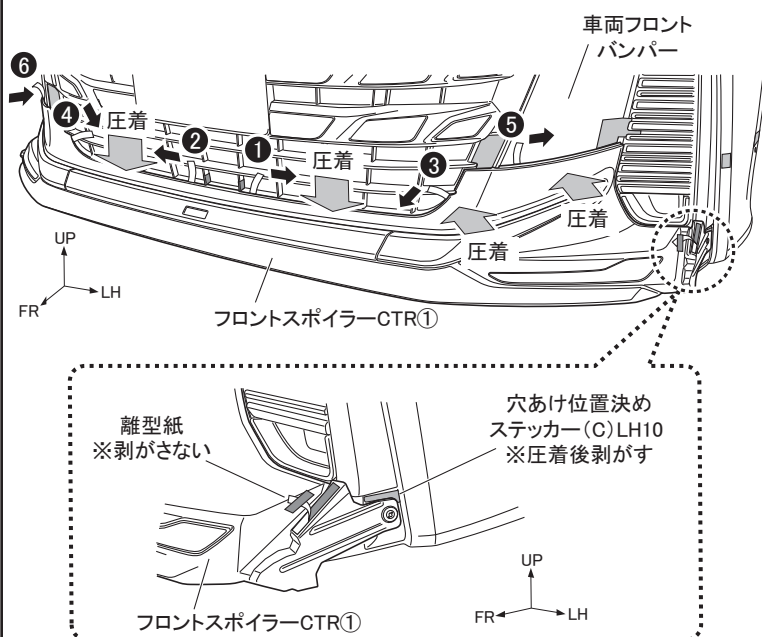
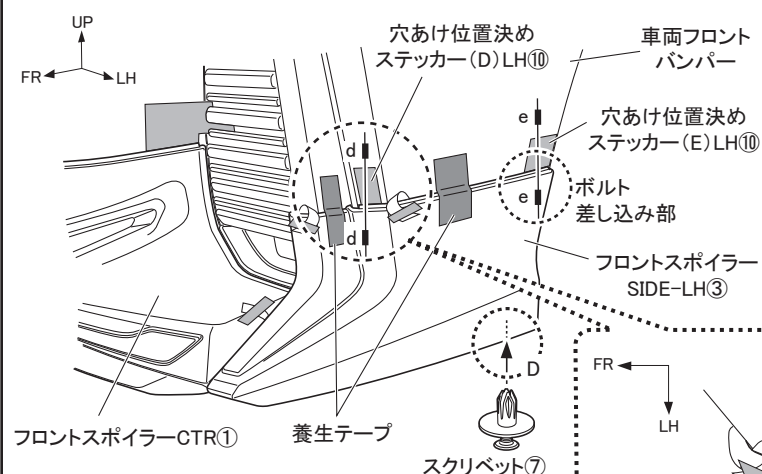


図18 ※LH図示 左右共通作業



3. 図18のように両面テープ離型紙を①～⑥の順に矢印の方向へ剥がしながら圧着する。
4. 位置決めステッカー(C)LH⑩を剥がす。

図19 ※LH図示 左右共通作業



5. 図19のようにフロントスポイラーSIDE-LH③のボルト部をフロントバンパー側面の穴へ差し込み、下面をスクリベット⑦で固定する。(1箇所)
6. 図19のようにフロントスポイラーSIDE-LH③のエンドモール上端と位置決めステッカー(D)、(E)LH⑩と位置を合わせて養生テープで仮固定する。

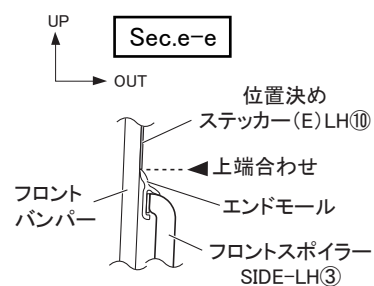
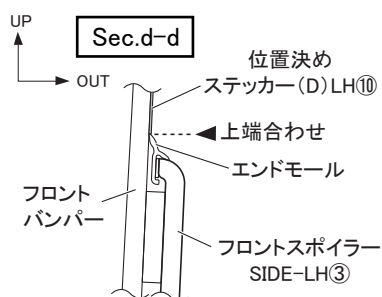
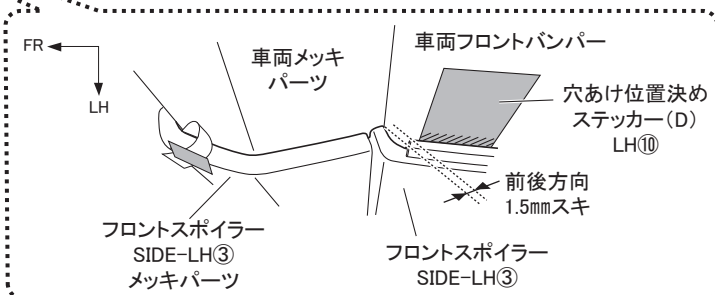
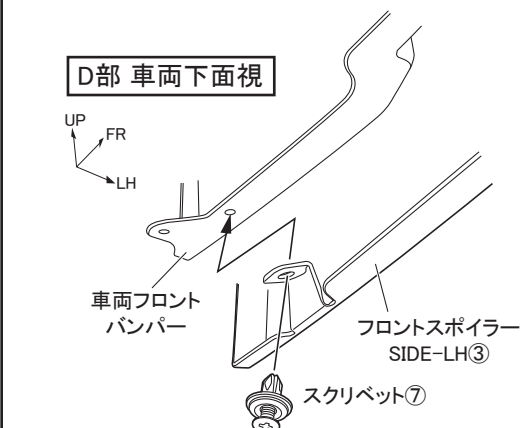
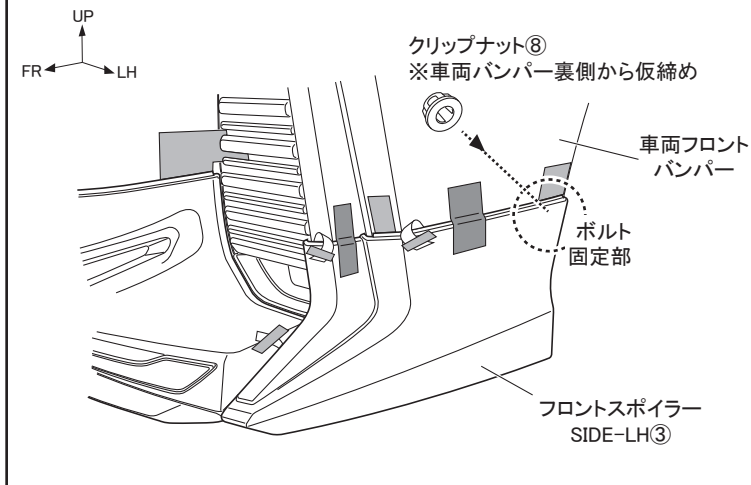
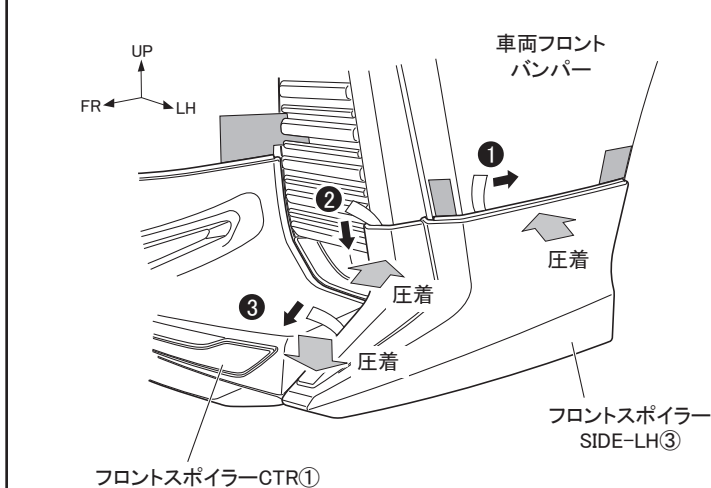


図20 ※LH図示 左右共通作業



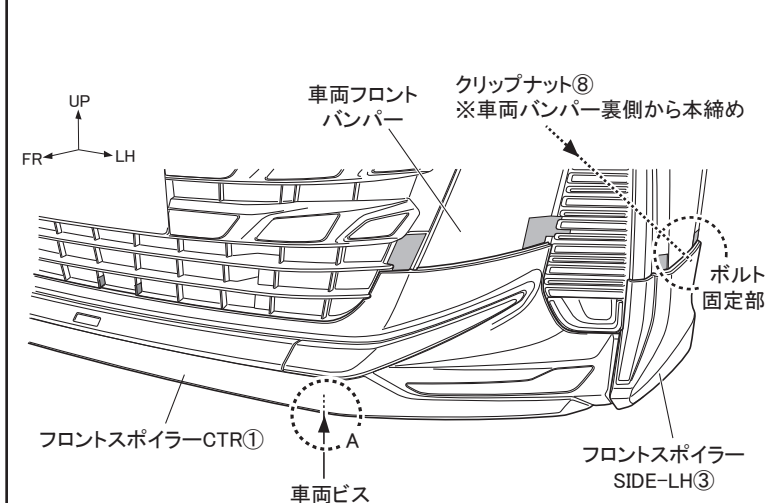
7. 図20のようにフロントフェンダーをずらしてフロントスポイラーSIDE-LH③のボルト部を車両バンパー裏側からクリップナット⑧で仮締めする。(1箇所)

図21 ※LH図示 左右共通作業



8. 図21のように両面テープ離型紙を①～③の順に矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

図22 ※LH図示 左右共通作業



9. 図22のようにフロントスポイラーCTR①下面図示A部の車両ビスを本締めする。(1箇所)
10. フロントスポイラーSIDE-LH③車両バンパー裏側のクリップナット⑧を本締めする。(1箇所)

(重要)

11. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。
12. 全てのマスキングテープ、養生テープ、位置決めステッカー、を剥がす。
13. 全ての両面テープ接着面を全て再圧着する。

14. 図23のようにホイールハウス部のフロントフェンダーをずらして手を入れ、フロンスポイラーCTR①のLEDハーネスコネクタとバンパーハーネス②のコネクタを接続する。
15. 図23のようにフロントバンパー裏側図示部の車両ハーネスに結束バンド⑥で固定する。(1箇所)

図23 ※LH図示 左右共通作業

※結束バンド⑥固定位置を(▲)印で表しています。(1箇所)

- バンパーハーネス②
- 車両ハーネス
- フロンスポイラーCTR①LEDハーネス

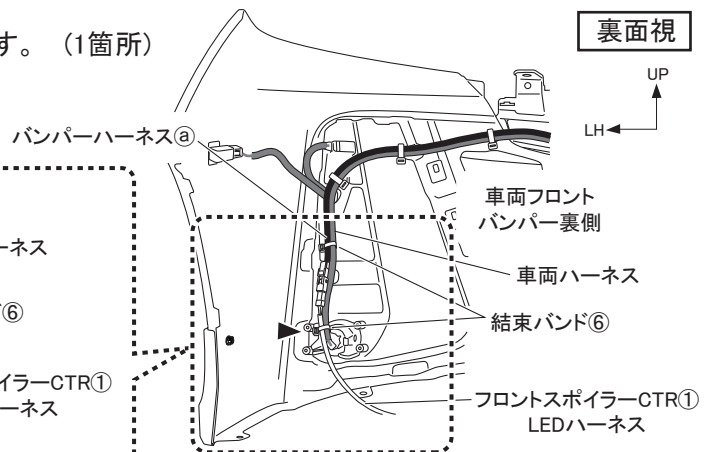
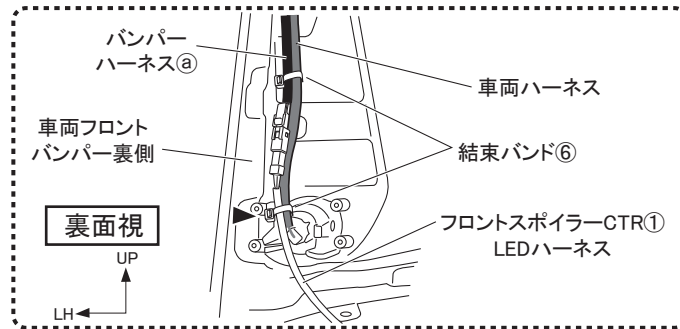
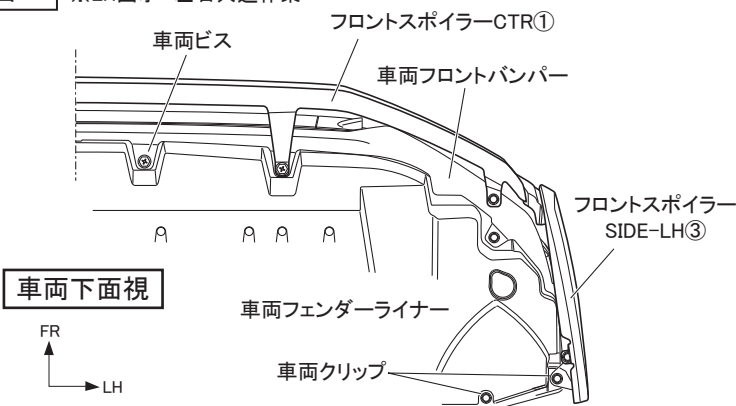


図24 ※LH図示 左右共通作業



16. 図24のように車両フロントバンパー下面図示位置の車両ビス(1箇所)、車両クリップ(2箇所)を固定し車両フェンダーライナーを復元する。

アドバイス: 車両フェンダーライナーの復元の詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)をご参照ください。

17. バッテリーのマイナス端子を取付け、各システムの動作確認を行なう。

アドバイス:

- 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。
- 商品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

警告:

- 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
- 両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ LED デイタイムランプ取付け後の確認・注意事項

- ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
- イグニッションONの状態にしてLEDデイタイムランプの点灯確認を行なう。

■ 取付完了後の点検・注意事項

- 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
- 車両及びフロンスポイラー周りに傷が付いていないことを確認する。
- 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

警告:

- 分解・脱着した部位以外でも、周辺部品に触れて、ラジエータキャップのゆるみや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず確認を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

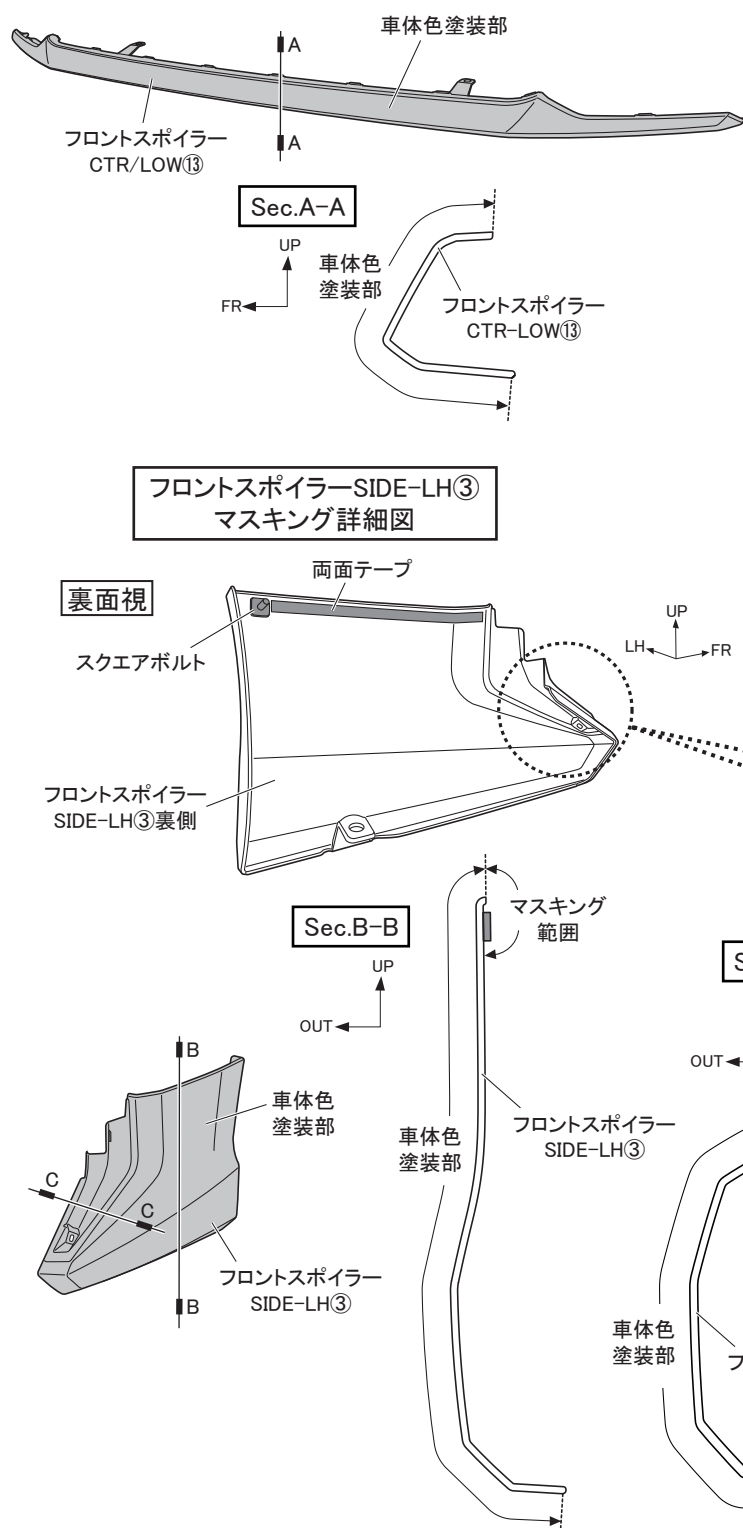
□ フロントスポイラーの塗装

下記は、未塗装品(MSD41-58006/8/12-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△ **注意**：本商品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。(本品の材質はPPです。)

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

図25 ※LH図示 左右共通作業



1. 図25のようにフロントスポイラーCTR-LOW^⑬を車体色を塗装する。
2. 図25のようにフロントスポイラーSIDE-LH^③の両面テープ及びスクエアボルトと裏側の^{〰〰〰}部をマスクングし、車体色で塗装する。

△ **注意**：脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

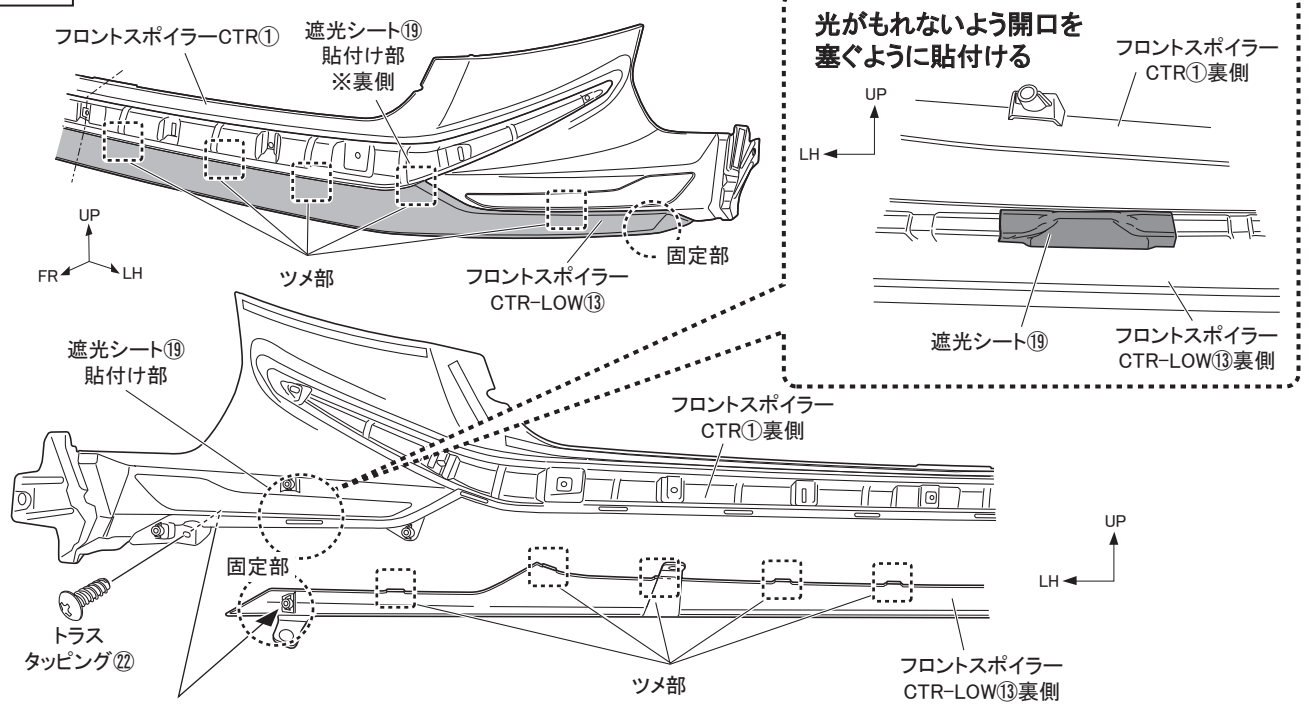
両面テープは絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスクングテープを貼るなどして対応してください。

乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ フロントスポイラーの組付け

- 図26のようにフロントスポイラーCTR①にフロントスポイラーCTR-LOW⑬のツメを差し込み取付ける。(5箇所)
- 図26のようにフロントスポイラーCTR①裏側からトラスタッピング⑳で固定する。(1箇所)
- 図26のようにフロントスポイラーCTR①裏側のツメ位置へ遮光シート⑱を貼付ける。(1箇所)

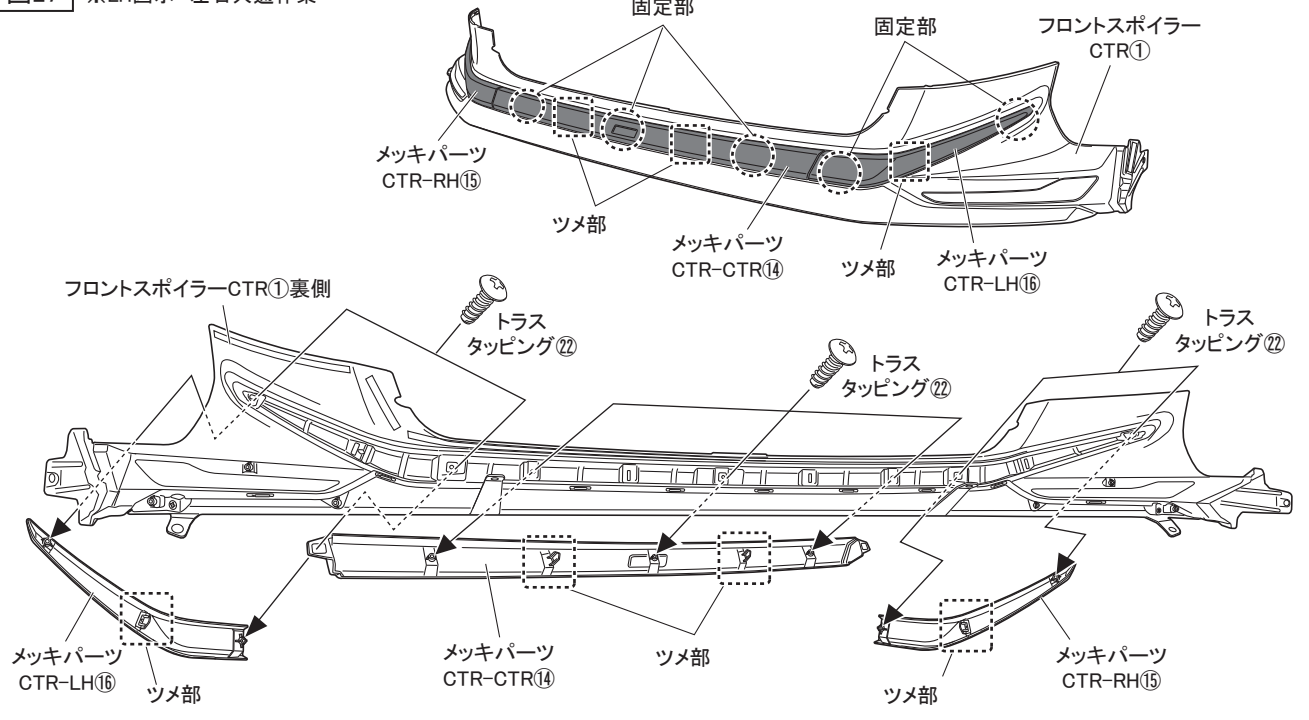
図26 ※LH図示 左右共通作業



□ メッキパーツの取付け-1

- 図27のようにフロントスポイラーCTR①にメッキパーツCTR-CTR⑭のツメを差し込み取付ける。(2箇所)
- 図27のようにフロントスポイラーCTR①にメッキパーツCTR-CTR⑭を裏側からトラスタッピング㉔で固定する。(3箇所)
- 図27のようにフロントスポイラーCTR①にメッキパーツCTR-RH⑮、メッキパーツCTR-LH⑯を裏側からトラスタッピング㉔で固定する。(4箇所)

図27 ※LH図示 左右共通作業



□ メッキパーツの取付け-2

9. 図28のようにメッキパーツSIDE-LH⑪裏側図示位置の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、表面に折返してマスキングテープで貼付ける。(2箇所)
10. 図28のようにフロントスポイラーSIDE-LH③ ■ 部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意**：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

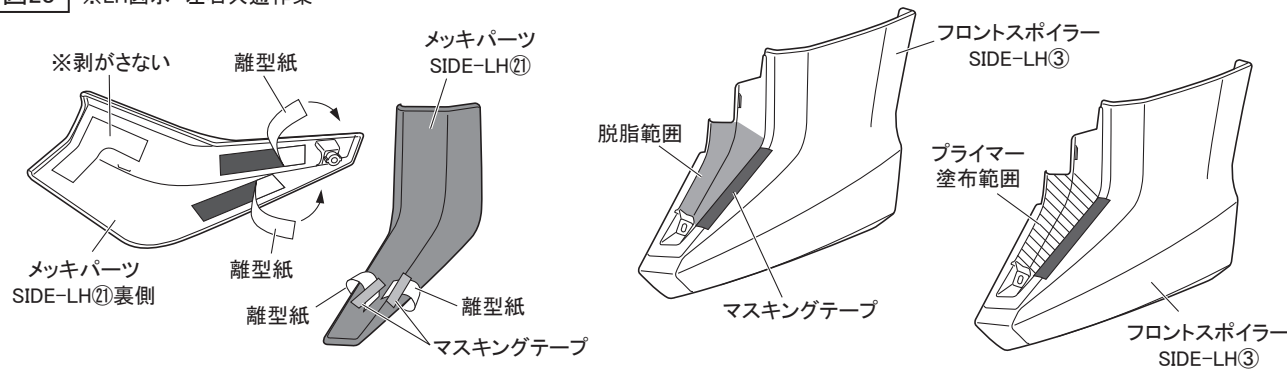
👉 **アドバイス**：脱脂後は、十分に乾燥させてください。 ※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

11. 図28のようにフロントスポイラーSIDE-LH③の図示位置をマスキングテープでマスキングする。
12. 図28のようにフロントスポイラーSIDE-LH③ ▨ 部(両面テープ貼付け部)にPACプライマーN210NT⑪を塗布する。
13. 塗布後マスキングテープを剥がしてください。

👉 **アドバイス**：PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。

PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図28 ※LH図示 左右共通作業



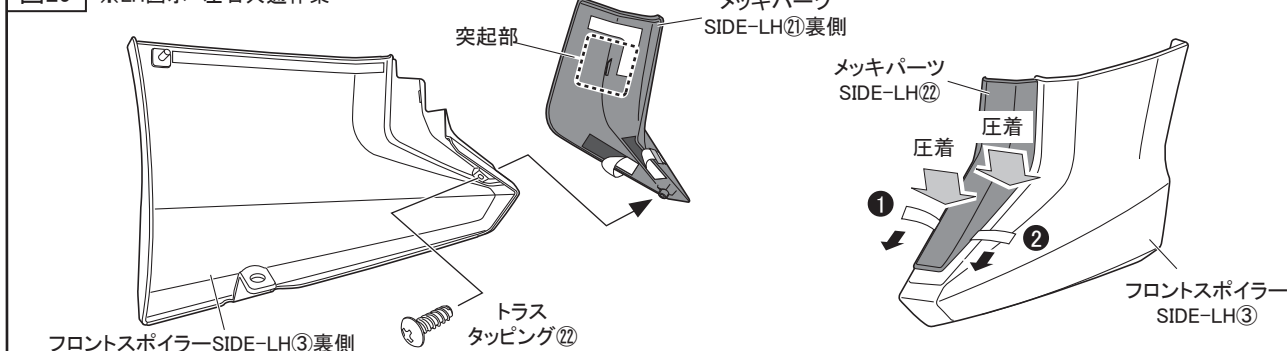
□ メッキパーツの取付け-3

14. 図29のようにメッキパーツSIDE-LH⑪裏側の突起部をフロントスポイラーSIDE-LH③に合わせてあて、トラスタッピング⑫で仮固定する。(1箇所)
15. 図29のように位置があっていることを確認し、両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしながら圧着する。
16. トラストタッピング⑫を本締めする。(1箇所)

👉 **アドバイス**：両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ **警告**：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

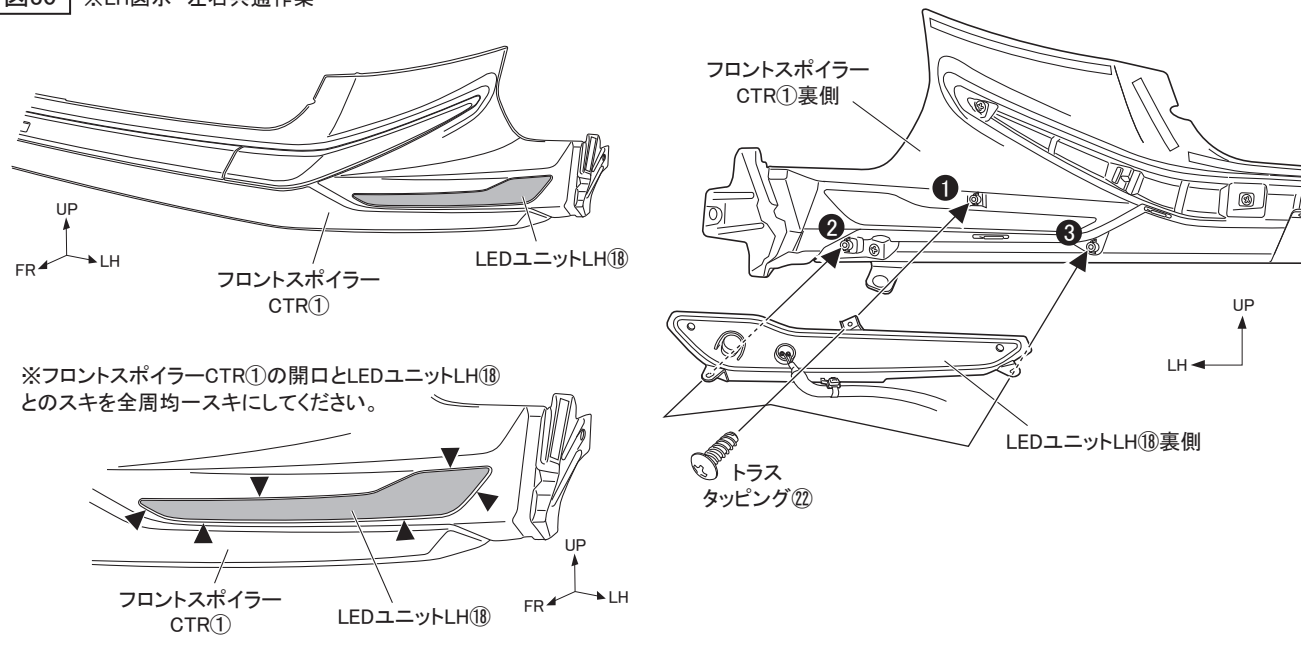
図29 ※LH図示 左右共通作業



□ LED ユニットの取付け

17. 図30のようにフロントスポイラーCTR①にLEDユニットLH⑩を裏側から位置を合わせてあてがい、トラス
タッピング⑫で①～③の順で固定する。(3箇所)

図30 ※LH図示 左右共通作業

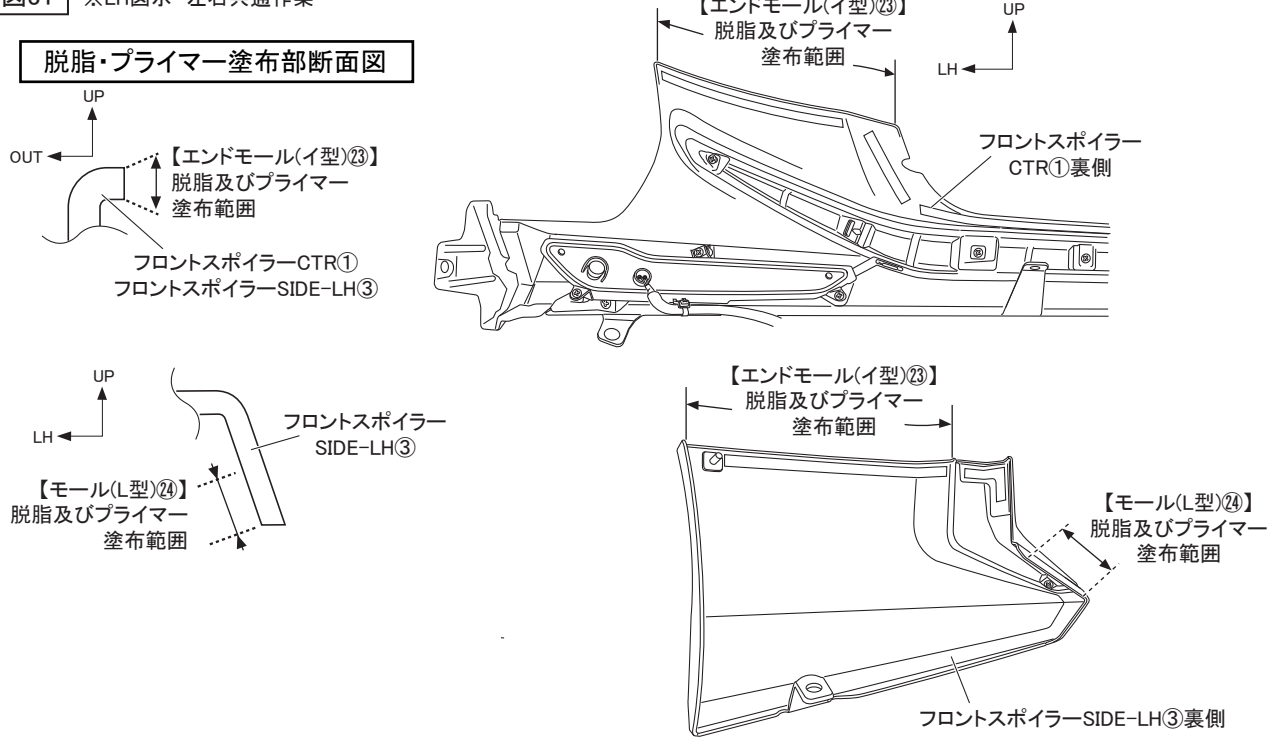


□ モールの貼付け -1

18. 図31のようにフロントスポイラーCTR①及びフロントスポイラーSIDE-LH③のエンドモール(イ型)⑮、モール
(L型)⑯貼付部を一方方向に拭いて脱脂し、パッキプライマーK-500⑫を塗布する。

アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。
PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図31 ※LH図示 左右共通作業

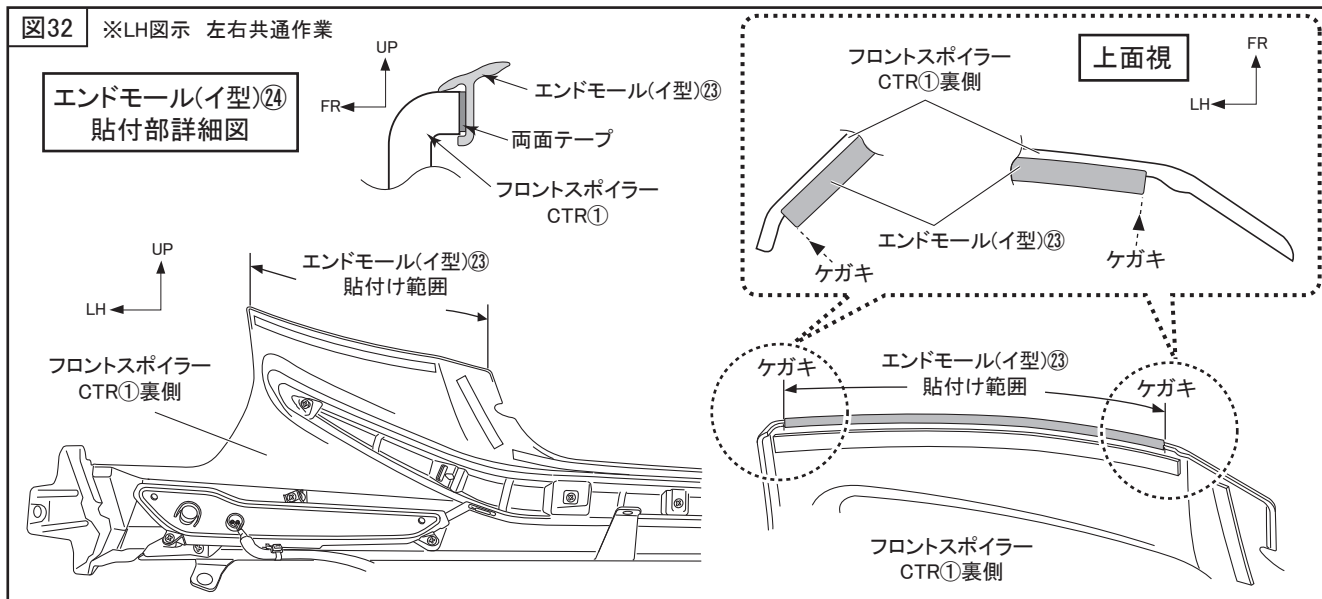


□ モールの貼付け-2

19. 図32のようにフロンスポイラーCTR①へエンドモール(イ型)②③を貼付ける。

アドバイス: モールは長めに設定されているので長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。
エンドモール(イ型)②③は、2色同梱されています。塗装色に合わせて選択し、貼付けてください。

図32 ※LH図示 左右共通作業

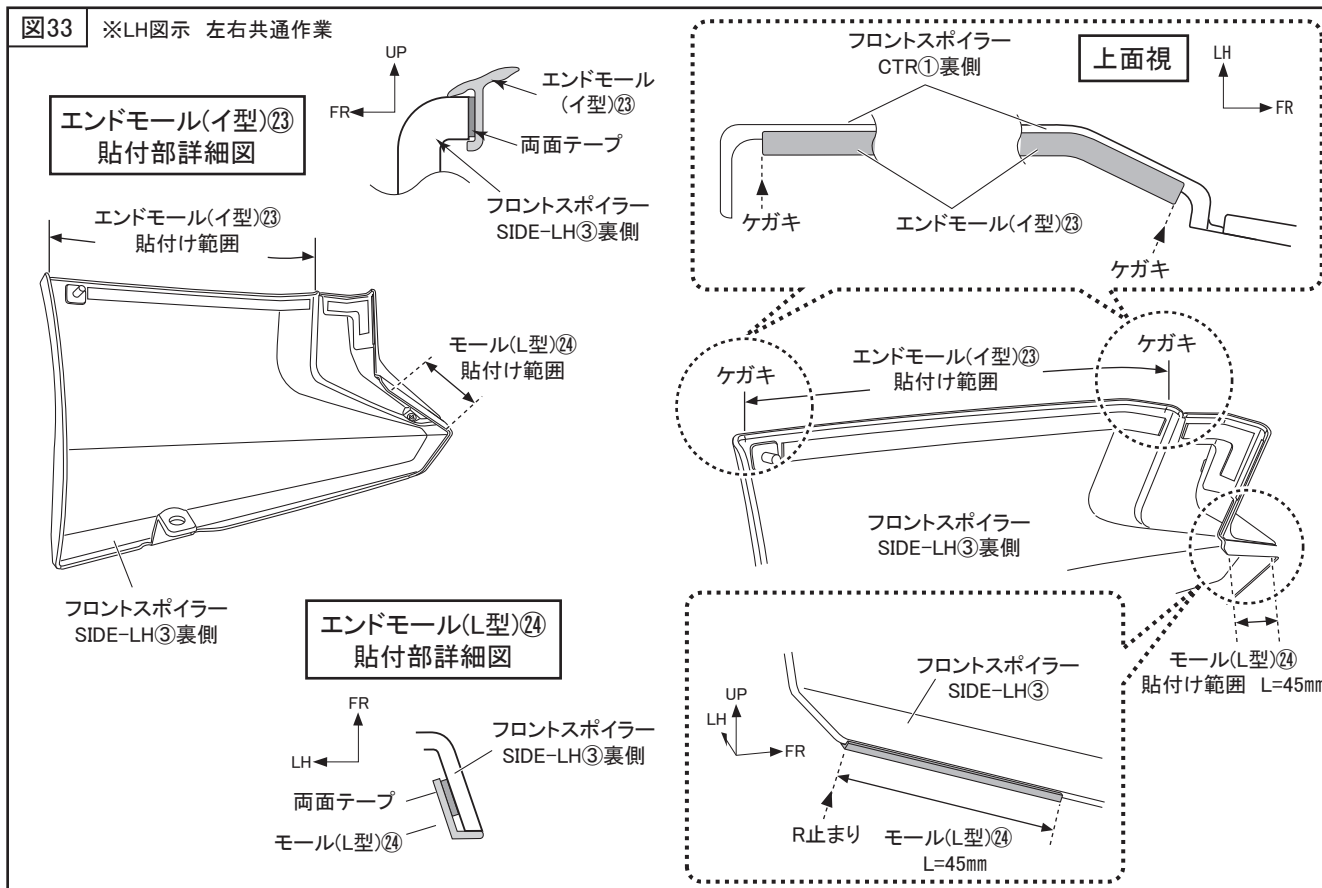


□ モールの貼付け-3

20. 図33のようにフロンスポイラーSIDE-LH③へエンドモール(イ型)②③、モール(L型)②④を貼付ける。

アドバイス: モールは長めに設定されているので長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。
エンドモール(イ型)②③は、2色同梱されています。塗装色に合わせて選択し、貼付けてください。

図33 ※LH図示 左右共通作業

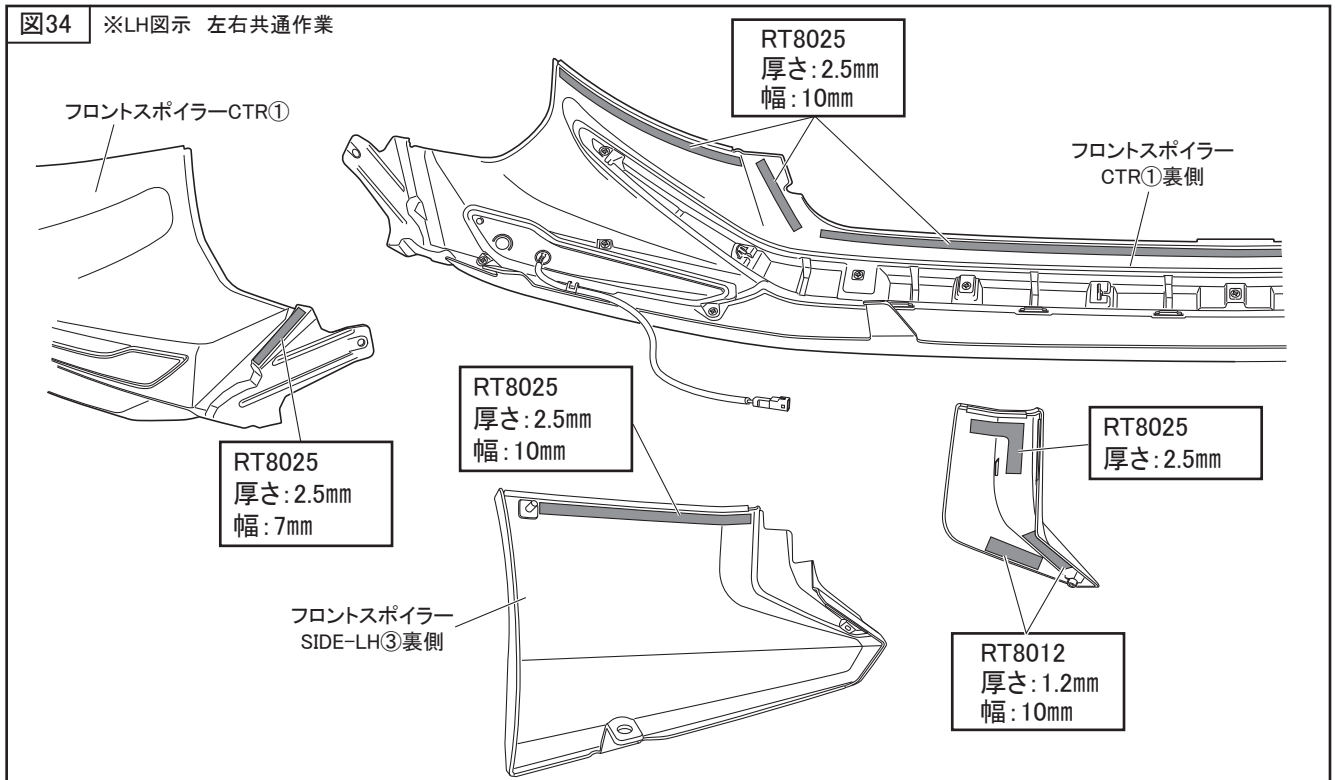


■ 参考

補修キット(品番:MSD80-58H10)を使用してフロントスポイラーの取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼付けてください。

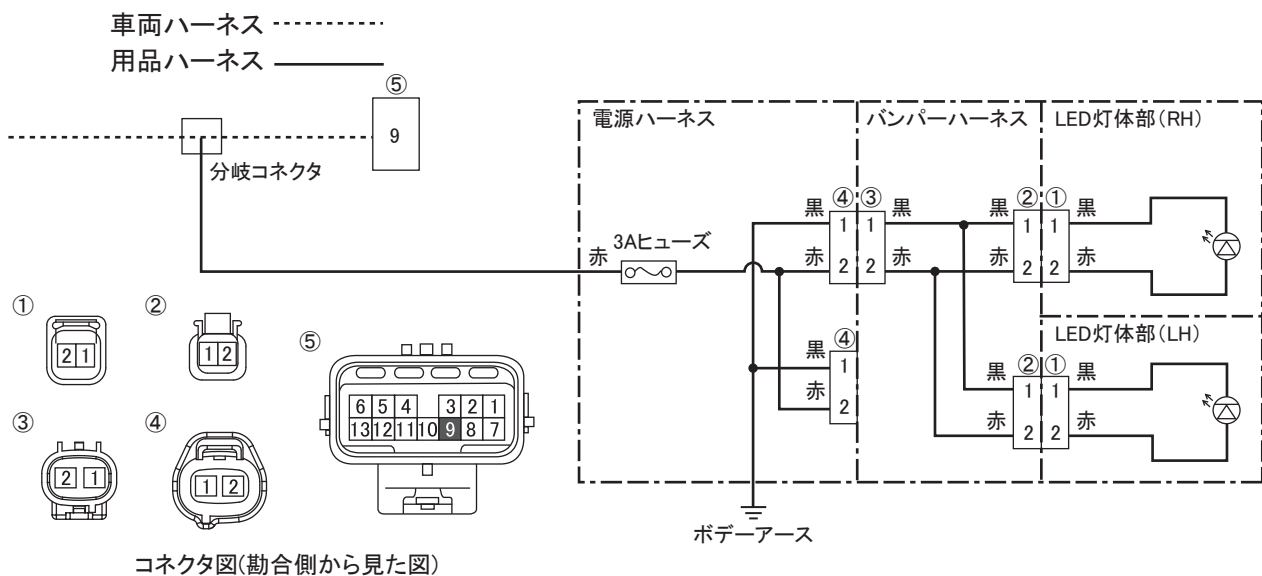
※両面テープを貼付ける際は、貼付部を脱脂し、プライマー(PACプライマーK-500相当)を塗布してください。

図34 ※LH図示 左右共通作業



■ 配線図

配線図



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

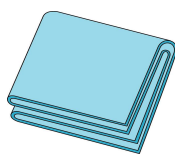


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



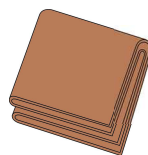
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



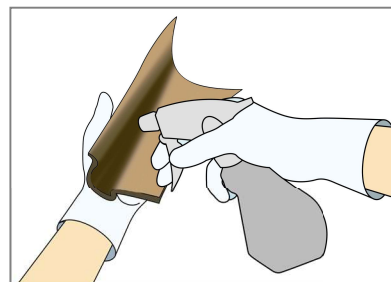
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

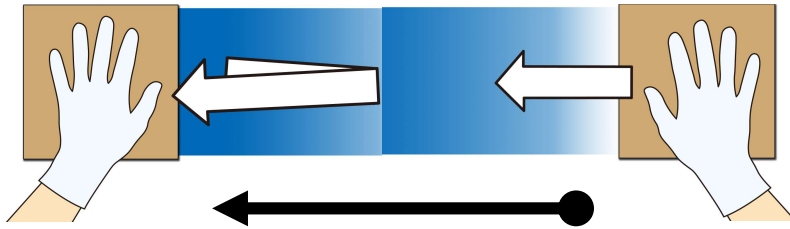
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

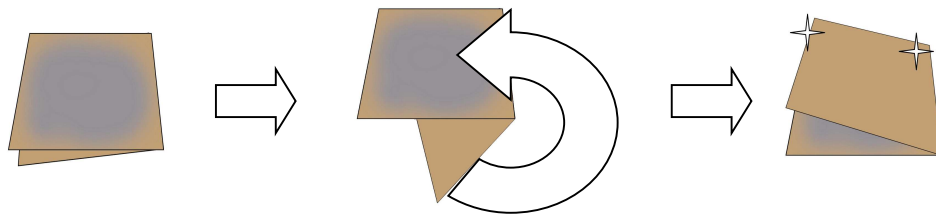
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。